新京日日新聞
夕刊　十一月四日
本紙一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
定價　廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三三二〇　營業局專用③三三〇五
發行人　十河榮忠
編輯人　松木勇
印刷人　水越内之介

事變の前途なほ遼遠 擧國一致を要す

敵都漢口に第一步を印するに當りて

畑中支軍最高指揮官聲明

【漢口三日發國通】畑中支軍最高指揮官は明治の佳節のけふ三日午前十時漢口へ第一步を印するに當り、幕僚を通じ記者團に對し談話の形式をもつて左の如き聲明を發表した

□

及川支那方面艦隊司令長官と共に揚子江を遡江し本日漢口に第一步を印するに當り諸君を通じて銃後の同胞に所信を述ぶるは余の欣快とするところである、南京陷落後久しく抗日容共の牙城たりし武漢攻略が蔣介石政權に一大打擊を與へたことは疑ふ餘地がない、しかしながら單なる武漢の攻略が事變の終結に決定的影響を與ふるものとは考へないのである、今次會戰における皇軍の赫々たる戰績はもとより御稜威によるところであつて眞に感激に堪へぬところであるが、一面陸海空協力一致、炎熱と鬪ひ困難な地形を克服し、よく頑敵を屠り皇軍の傳統的精神を發揮したる結果である、而して擧軍士氣旺盛、笑つて敵陣に躍り込む槪ありしは銃後の熱烈の後援によること頗る大であり、同胞各位に對し感謝措く能はざるところである、また余はこの機會において光榮ある幾多護國の英靈に對し衷心哀悼の意を表するとゝもに不幸なる戰傷病兵に對し、またその家族に對し同情を禁ずる能はぬものである、今日武漢の要地に來り皇軍今なほ激戰中の四圍の山地を望めば余の責務極めて重大なることを知ると共に、事變の前途なほ遼遠にしてこれが解決はさらに擧國一致堅確なる決意を要することを痛感する次第である

各將星一堂に會し 漢口で陣中祝宴

戰火收つた漢口の明治節

【漢口三日發國通】戰火漸く收つて迎へた明治の佳節、三日午後三時半漢口市中央部のパレス・ホテル屋上に東久邇中將宮、賀陽大佐宮兩殿下をはじめ

奉り

畑最高指揮官、及川艦隊司令長官等將星幕僚、花輪總領事等相會して陣中祝賀の宴が張られた、秋陽まばゆいばかりの五階建ホテル屋上からは武漢三鎭の全景がパノラマの如く俯瞰され陸海軍樂隊の軍艦マーチ、陸軍行進曲がそれ〲高らかに鳴渡り、相次で會場に入つた將星達は會場正面陸海二樣の日章旗の下に設けられたメインテーブルに着席、畑最高指揮官、及川司令長官賀陽大佐宮殿下、花輪總領事その向ひに東久邇中將宮殿下をはじめ奉り將星幕僚がテーブルに居並んで先づ畑最高指揮官の挨拶「武漢三鎭を攻略し得て明治の佳節を迎へ」と力强く語る句々は前線將軍の逞しいアクセント、盃をあげ乾盃すると座談に移り各將軍互ひにその勞を犒ひ合つた、卓上には銘酒白雪、鯣、勝栗、鹽豆、紅白の餅がならべられ綏めれば左側の及川司令長官の緒顏が微笑し、東久邇宮殿下にもにこやかに祝盃を重ねさせられ、瀏喨たる音樂が心ゆくまでに響き、將星の笑ひ聲は堂に滿ちた、やがて一同起立、及川司令長官の發聲で大元帥陛下の萬歲を三唱聲は

秋空

にこだまして武漢三鎭を壓するばかり、上空を亂舞する陸海の飛行機の轟音の中に一同記念撮影をなし、かくて卅分にして歷史的盛宴を終つた

及川司令長官 記者團と會見

【漢口四日發國通】わが海軍の威容は明治節を期して行はれた觀艦式に遺憾なく發揮され戰勝と佳辰を慶祝するに相應しい軍國繪卷が繰展げられ現地將士の士氣を彌が上にも高からしめたが、この歷史的儀式を滯りなく濟ませた及川司令長官は同日夕刻旗艦〇〇に海軍從軍記者と會見、午後六時甲板に設けられた天幕に長江焦けのした及川提督の英姿が現れ「やあお目出度う、お目出度う」と言葉の下から滿足氣な微笑を浮べ淸酒で乾杯した、記者團が漢口入の感想を叩くと

戰爭はまだ繼續中だから殊更に聲明などはしない、陸軍とも相談して入城式をやらなかつた、事變がもつと片付いてからと思つてゐる

と聽い口調で答へた、提督に對し「無口の人」或は「話下手」との批評を耳にしたことがあるが、今日の及川提督は終始「微笑む明るい長官」だつた

「漢口の印象はどうですか」と聽くと

一昨年の第〇艦隊司令長官として來た時とは隨分變つてゐる、岸壁がすつかり毀されてゐるし、總領事館ならびに大日本陸戰隊本部など一番印象の深かつたところだが、まるで變つてゐる殊に日本人街を見ただけでも以前の漢口らしくない、近藤少將もさういふ感想だつた

と支那軍と赤化分子の日本租界に對する暴虐振りに悲憤の面持だつた、最後に

漢口入りに際し内地から數千通の祝電を受け、またこれまでに無數の激勵文、慰問文を受け銃後の熱誠に感激してゐる、吾々一同は非常に感激して元氣でやつてゐるから宜敷く傳へて欲しい

と銃後國民一致の至誠に答へ六時十五分和氣藹々裡に會見を終つた

北支の支那側銀行 中聯依存に轉換

資本動向に重大影響

【北京二日發國通】廣東及び武漢三鎭陷落は支那經濟界に漸次深刻なる衝動を及ぼしつゝあるが就中從來不即不離のヌエ的立場を堅持してゐた支那側銀行はこれを機會にその態度を全く淸算し徹底的に日本側及び中國聯銀依存に轉換せんとする現實的動きを示しつゝあるのは頗る注目に値する、即ち中國、交通及び金城鹽業、大陸、中南等の支那側銀行は中國聯銀メムバーバンクとして協力の意を示しつゝも一面蔣介石政權と一線の聯關を保持し續け且つ英佛租界の庇護下に隱れて兎もすれば臨時政府の方針に逆行せんとする態度を示してゐる、或は未拂込保管銀塊約四千五百萬元の引渡しに難色を示したり或は營業狀態を新政府側に明かにせず、戰局の發展を觀望しつゝ日和見的態度を持續してゐたものである、しかるに今や南方における彼等の本店は全く潰滅に瀕して頼るべき何物もなく、一方自行は依然たるモラトリアム下にあつて貯金減退、貸出の未回收に惱みしかも自行紙幣新發行はすでに禁止されてゐるので資金の調達は總て聯銀に仰がざるを得ぬ狀態となり英佛租界の援助も漸く薄らぎつゝある狀態となつた、これに反して聯銀の基礎はいよ〱固まり貿易通貨としての機能も漸く充實しつゝあるのでこゝに方針を一變し座して崩壞を待つよりも進んで聯銀に依存の手を伸ぶるに至つたものである、これに對し聯銀當局も種々の對策を考究しつゝある模樣で今後の成行は中南支及び蔣政權下における民族資本の動向に重大なる影響を及ぼすものとして頗る注目を惹くに至つた

梁院長訪日日程

【南京二日發國通】梁鴻志行政院長の訪日旅行日程は二日左の如く決定した

（一）十一月十五日定期飛行便にて上海發、同日東京着（一）十五日より二十日まで東京滯在、各方面に挨拶（一）二十日夜晩餐會を開き各方面の名士を招待（一）廿一日東京發、大阪着（一）財界代表と懇談二泊（一）廿四日大阪發歸途に就く

人事往來

着京

▲石渡周治氏（コロンビヤ大連支店長）三日來京ヤマトホテル ▲中村基一氏（官吏）同 ▲織本道三郎氏（建築士）同 ▲淺野富家氏（辯護士）同 ▲加藤孝三氏（滿鐵社員）國都ホテル ▲小西左京氏（三笠商事）同 ▲眞保義一氏（東洋オチスエレベーター）同 ▲沼本誠三郎氏（撫順製紙常務取締役）大都ホテル ▲岡崎孝平氏（會社員）同 ▲木下隆氏（商業）同 ▲志村繁隆氏（東京帝大教授）同 ▲坂田謙氏（奉天鐵道局總務課長）同 ▲大月茂次郎氏（會社員）同 ▲山邊綱氏（會社員）ニューアジアホテル ▲藤巻富長氏（同）同 ▲樋口荒氏（同）同 ▲中村豐治氏（官吏）三國ホテル ▲武渡善治氏（同）同 ▲石戸陽三氏（同）同 ▲杉山太郎氏（會社員）同 ▲小木博氏（同）同 ▲濱邊包明氏（官吏）同 ▲吉井淸春氏（農業）滿蒙ホテル ▲小倉政太郎氏（會社員）同 ▲荒蒔義幸氏（同）同 ▲山本家士夫氏（同）中央ホテル ▲鈴木幸次郎氏（同）同 ▲吉村忠治氏（滿鐵社員）[illegible]ホテル ▲神山政幸氏（同）同 ▲藤原連治氏（鮮拓殖）富士屋旅館 ▲立花正富氏（官吏）同 ▲勝浦圭氏（日滿商事）帝都ホテル ▲高野盛氏（同）同 ▲黑田繁氏（自動車業）同 ▲林上勝次氏（紙商）同

出發

▲近藤安吉氏三日奉天へ ▲佐田公一氏大阪へ ▲荒木誠一氏吉林へ ▲齋藤武夫氏同 ▲久保義光氏奉天へ ▲高野三男氏大石橋へ ▲磯野琴治氏大連へ ▲樋口長次郎氏同 ▲須藤朝一氏牡丹江へ ▲岡部秀一氏大連へ ▲谷越郎氏奉天へ ▲秘枝秀夫氏海城へ ▲梅比眞雄氏奉天へ ▲吉田榮藏氏同 ▲八十川正樹氏同 ▲山崎重利氏同 ▲越井伸二氏大連へ ▲神田勇氏奉天へ ▲掛川米太郎氏大連へ ▲山上孝氏奉天へ ▲飯沼仙之助氏東京へ ▲稻村峯一氏吉林へ ▲飯塚富太郎氏大連へ ▲飯島孝氏哈市へ ▲濱川金十郎氏大連へ ▲久保米吉氏同 ▲狩野敏氏哈市へ ▲高野勇氏大連へ ▲平野欽也氏北京へ ▲山口英夫氏奉天へ ▲篠原幹興氏哈市へ

外相近く外交方針を聲明

【東京國通】政府は三日事變新段階に處する根本方針を聲明するとゝもに近衞首相はラヂオを通じ右聲明を敷衍しその眞意を中外に闡明したが、有田外相はこの政府の根本方針に基いて近く帝國の外交方針を聲明することゝなつた、右聲明は十日前後外相が新任奉告のため西下するを機とし車中談の形式をもつて行はれる豫定であるが、外相は同聲明において日本の新しき東亞における政治的地位と東亞の舊體制下にある列國の立場と如何に融和するかを明かにするものとして注目されてゐる

我が重大聲明は 蔣政權に顚落の烙印

【東京國通】三日明治の佳節を期して中外に發表された帝國政府の聲明は、廣東ならびに武漢三鎭の陷落を期として展開を豫想されてゐる事變新段階に處すべきわが政府の不動の方針と決意とを端的に表明したもので、去る一月十六日第一次聲明に次ぐ歷史的な重大意義を有するものである而して同聲明においては先づ第一に戰局の進展によつて國民政府は今や全く一地方政權に顚落したといふ烙印を押し第二に地方政權化した國民政府と雖も依然として容共抗日政策を放棄せざる限りはこれが潰滅に向つて邁進すべく斷じて聖戰の矛を收めるものにあらざる所以を力說し、もつて帝國の斷然たる決意を示してゐる

□

ついで第三點として帝國聖戰の目的は東亞永遠の平和確立のための新秩序の建設にある點を明確にし新秩序建設なる言葉によつてこゝにはじめて具體的に大陸建設の指標を示したことは注目される、しかして更に第四段階の新たなる秩序建設のためには日滿支三國が一體となつて政治、經濟文化など各般の施策にわたり民族各自の獨自性を尊重してその下に新たなる東亞における指導精神の確立と共同防共の徹底、新文化の創造、東亞ブロック經濟の實現を圖るべき意味を述べて東亞永遠の平和確立なる從來のスローガンに實質的内容を附與し日滿支三國を基礎とする所謂東亞協同體の結成確立こそ東亞民族結合の基本であり、これこそ世界平和に寄與する所以であるとの意味を述べてゐるのは本聲明中における重點であつてこれが影響するところは頗る重大微妙なるものありと見られる

□

而して第五はこの東亞協同體に支那民衆の參加を要望し國民政府と雖も從來の指導政策たる容共抗日政策を放棄し蔣政權の人的代表たる蔣介石を下野せしめ、政府内部の人的構成を解體して更生の實を擧げ、既に各地に誕生を豫想せられる新政權と協力して新秩序の建設に來たり參ずるの態度に出づるならばそれを拒むものでないとの雅量を示したものであつて、第六は第三國に對して列國が以上の新事態を正しく認識し且つ東亞協同體完成のための帝國の大陸建設の大使命に贊同の精神を以て新情勢適應の態度を示すことを希望し、斯くて最後にこの東亞新秩序の建設はわが肇國の大精神に淵源するところであつて、この光輝ある而も前途多端の大業を完成することこそわれ〱日本民族の現在に課せられたる光榮ある責務で、これがためには國内諸般の改革を斷行して戰時態勢下の確立をはかるとゝもに精神的總動員に止まらず政治的にも國民總動員の實をあげて所謂國家總力の擴充を實現し萬難を排して肇國の大業達成に勇往邁進しなければならぬ

□

結びとして東亞協同建設の意義を强調して、わが向ふべきところを明かにし長期建設の新段階に處すべき帝國政府の方針と決意とを闡明したものである

結城日銀總裁語る

【東京國通】結城日銀總裁は武漢三鎭陷落後の新局面に對處すべき帝國政府の聲明並にこれに伴ふ池田藏相談に關し左の如き談話をなした

□

今次の帝國政府の聲明は漢口陷落後における國策の向ふ所を明らかにしたものであつて誠に適切妥當國民は進んでこれに順應せねばならぬものと信ずる、漢口攻略により假令戰鬪行爲は一段落するも之によつて事變が終結するとは考へぬのであつて今後は更に重要資源の開拓諸般の經濟建設を全たからしめ政治、經濟、文化の各方面に亘つて日滿支を一體とする一大强力組織を作り上げねばならぬ、それに至る迄は殆んど我國の獨力で長期建設に邁まねばならぬ覺悟を要すると思ふ、從つてわが戰時又は準戰時體勢又はこれに基く各種の統制は今後も相當長期に亘り持續するものと覺悟せねばならぬ、即ち今後も國内における物資々金をそれ〱その目的のために集結し最も有效なる方面に使用することが必要でありこれがためには國際收支を調整し一方資源の開發と生産力擴充によつて物資需給の適合を圖ることが肝要であり他面これに必要な資金を圓滑ならしめ同時に通貨の健全性を保ち國民生活の安定を維持することが必要である、而して戰時下經濟統制の進展に伴ひ右によつて財界各方面に齎らされた摩擦乃至惡影響はやむを得なかつたところであるが今後長期建設の過程に於ても全體の爲に各人の爲に各人の犧牲を要求せねばならぬやうな事態も惹起することゝならう、しかし乍ら事變下にあつてわが國經濟が大體に於て順調なる推移を辿つて來た事はひとりわが國經濟力の賜たるのみならず國民擧つて協力一致國策の向ふところに順應したゝめであるが政府聲明にある如く今後事變の前途に横はる困難は一層大なるものがあるだけに國民としてはこの際これに堪へる覺悟を固め一層緊張して國策遂行に協力する必要があると思ふ

財界各方面好感

【東京國通】新事態に處する帝國不動の方針と決意闡明の政府聲明ならびに財政經濟政策に關する池田藏相の談話は財界でも時宜を得たる當然の方針闡明として頗る好感をもつて迎へ、今後に殘されたその具體策の内容が明確にされることに最も關心を持つてゐる、すなはち生産力の擴充と生産の増加、資源開發、物資需給の調整、國際收支の改善調整、金の増産、貯蓄の徹底等從來の根本方針を繼續しつゝさらにこれを强化徹底するか上に如何樣な形式がとられるかゞ注目の的となつてゐるが何れにせよ帝國不動の方針に對して欣然協力しもつて東亞永遠、新秩序建設の一助として邁進せんとの心構へは財界一致の覺悟といつてよい

その日〱

□ 畑將軍前線から事變の前途遼遠を說き擧國一致を要望、御安心あつて然るべし

□ 我が重大聲明に蔣政權よ最後の土壇場へ！容共抗日を捨て人的構成を一擲するは今

□ 年末年始の虛禮廢止叫ばる云ふべくして行はれざるがことまづ自らが……

□ 議員が市民のために多の兒童の家を作る、市公署といふのがこの市にもあつた筈だが

□ 大道理髪師をとう〱昔の長春なら兎も角、今は國都新京、便利と非衛生の[illegible]

合理生活への協和會の指針
年末年始に際して一切の虚禮廢止
年賀郵便も極少範圍に縮小

協和會中央本部では非常時局下國民の複雜不合理な生活を健全にして合理的な生活への建て直しをやるべく、曩に新生活運動の指導要綱を發表し全滿的に普及徹底しつゝあるが、これと結びつけ既にぼつぼつ巷間の話題に上りつゝある忘年會等は斷然本年から廢止することゝなり、その他年末、年始にかけての全般的な虚禮廢止等につき目下中央本部で案を練つてゐるが近く全滿各省縣市本部に指令し、大々的に全國民に呼びかけることゝなつてゐる、右につき皆川總務部長は語る

虚禮廢止は新生活運動の重要綱目の一つである、年末年始にかけて行はれる忘年會等はとり止め、新年宴會はから騒ぎを廢し、簡單にして内容の充實せるものにしなければならぬ、贈答品等も絶對に廢止し、年賀狀も極く必要なもの以外は自發的にとり止める樣にして頂き度い、時局柄一段と國民の自覺と反省を促すべく研究中であります

松岡總裁歸任

兒玉大將銅像除幕式參列のため來京中の松岡滿鐵總裁は四日午前八時十分の列車で奉天に向つた

首都警察廳ではちよつと待たない
社會問題化した路傍理髮

國都の街に異國情緒を織り出してゐた滿人露天理髮業者は衞生的の見地から首都警察廳に於てはこれを一掃すべく積極的に乘出して過般來管下各署衞生係に於てそれぞれこれ等業者に對し趣旨を説明納得せしめると共に更生策につき奔走中であるが、業者側では職を奪はれることは死活問題であると緩和策を再び協和會に申し込み問題は社會問題化してその成行を注目されるに至つた、これについて田村副總監は左の如く語り既定方針に向つて邁進することを闡明した

田村副總監談

露天業者側から當局一掃方針に對し緩和策を申込んだと言ふことだがこちらはまだ何の通報にも接してゐない、大體本問題は漸減方針によつて昨年末迄に一掃する方針にあつたがその後業者は死活問題だと協和會に泣きつき同會の仲介により折衝中のところその隙に乘じ業者は增加の一途を辿る反對の結果を見て遂に店舗業者に悲鳴を上げさせる現狀に至つた、同時にこれが增加と共に公衆衞生の見地からも放置出來ない狀態となつたので一掃に乘り出した譯だ然しその方法については協和會とも既に協議濟で業者の生活が成り立たないやうな彈壓を以て臨むものではない、亦その時期に於ても考慮の結果冬季の結氷期を選んだ、目下各署衞生係に於て各業者個々に對し懇談、それぞれ店舗に復歸せしめ或は共同で新たに店舗を持たしめるとか亦轉業せしめる等指導斡旋しつゝあるもので今後も摩擦面を少くし既定方針に向つて進む考へでゐる

首警時局講演會

警察官の時局に對する認識を一段と深めんとする首都警察廳に於ける時局講演會は四日午前九時より本廳講堂に於て日系警察官全員集合の下に開催、講師協和會中央本部企畫局副局長古海忠之氏は協和精神と題して長講二時間半に亘り熱辯を振ひ多大の感銘を與へた

秋季美展開く

新京美術協會の秋季展覽會は四日午前十時より記念公會堂で開始された、出品點數は三十點、例年の如く小品室も設け美術愛好者の希望に應じて即賣も開始してゐるが、春の國展以來の展覽會なので參觀者續々と入場非常な人氣を呼んでゐる、會期は六日迄である、尚關東軍、駐滿海軍部、滿洲國軍に獻納する日滿傷病兵慰問作品は四日中に審査の結果決定する事となつてゐる【寫眞は展覽會】

スケート場は來年度に延期
アイスホッケー場だけ新設

冬季の保健增進にスケートの全面的奬勵を企圖してゐる體聯事務局では新京唯一の大衆スケート場西公園スケート場の施設の擴充につき種々考案中で脱衣場の新築等も保健協會建築事務所に依賴し設計を急ぎつゝあつたが既に結氷期も間近に迫つた昨今着工することは工事上不都合の點も多くまた經費の關係もあり明年に延期してはとの意見擡頭しそれぞれ研究されてゐたが二日委員會を開いた結果本年はアイスホッケー場の新設に止め脱衣場は防寒設備を施した一時的の小屋を建てゝ間に合はせ明年解氷を待つて正面の役員席等と共にクラブハウスを兼ねた恒久的優秀なものを建てることに決定變更した、來年は四、五月頃道路に沿つた全長にスタンドも建設されることになつて居り擴充美化面目一新した競技場となるであらう

張司法部大臣
恩故の知人と感激の對面

【千葉國通】滿洲國の大官と老農夫の對面―その昔秋季演習の途次草深い田舍の農家に幾夜かの

假寢 夢を結んだ陸士留學中の淸國の一靑年は今は輝く滿洲國司法部大臣となつたが、その當時宿の主人の手厚いもてなしに感激して後日の再會を誓ひ合つた證文の一札を思ひ出して今日の佳き日廿九年ぶりの再會をなし、その昔の思出話に樂しい一時を過したといふ、菊の佳節に蘭の香をそへたこの奧床しい日滿親善の當人は千葉市外生濱町潮田の羽田久兵衞（七五）翁と滿洲國司法部大臣張煥相氏（五九）であるがその昔張氏が騎兵伍長としてわが陸士に在學中友人三名の宿舍に當てられたのが久兵衞さんの宅だつた、その時久兵衞さん一家の手厚いもてなしに異國に滯在中の靑年張さんは感激して出發に際し大將になつたら必ずお會ひしますと誓ひ、御好意を謝し『後會を希望仕候』との一札を入れた、やがて幾年かは夢のやうに過ぎ張氏は上將となり滿洲國建國後司法部大臣となつたが、今回大阪で開催された日滿經濟懇談會に出席のため去る廿五日來朝、忙しい滯留日程のうち三日午前十時半秘書の木村達男氏を伴つて帝國ホテルから自動車を飛ばし久兵衞さんのもとを訪れ、門口まで出迎へた久兵衞さんと廿九年振りの固い固い握手を交した、そして嘗ての宿舍だつた離れの間に案內されるや壁にかけたその時の自筆の證文額を眺めて感慨無量の面持だつた、久兵衞さんを顧りみて「ではもう一度約束するかなあ」と油であげた南京豆を偲びながら東亞の和平回復の曉再び合ふとの固い

約束 の文字を書いて渡せば久兵衞さんは羽二重に自分の作つた一首を添へて贈り名殘を惜しみつゝ感激の對面を終つた

冬の子を育てる
滿鐵"兒童の家"
千早寮內に新設、一般にも解放

滿鐵新京支社福祉係では比較的公園に遠く兒童遊園施設にも乏しく且つ現業社員の多い千早町附近兒童の

冬季 に於ける體育施設として千早倶樂部內に約三千圓を投じて『兒童の家』を新設することゝなり過般來種々準備中のところ此の程竣功來る十日より開所する運びとなつた、この『兒童の家』は約百八十平方米の廣さの中に極彩色を施したスベリ臺、遊動圓木、親子スウイング、ブランコ、シーソー等の各種運動具、オルガン蓄音機等娛樂器具、輪投、積木細工の遊び道具から讀書机子供椅子、ユリ椅子等を備へ階上には兒童付添ひの婦人のために婦人室の設備がありミシン臺を備へ洋縫教授をもなす施設がなされてをり女專出身の專任指導者を配する等などして幼稚園の如く劃一的に亘らず兒童遊園の放任に流れず託兒所の如く社會的義務を持たせず文字通り到れり盡せりの『兒童の家』である

收容 は一切無料で十歳以下の社員及び一般市民の兒童に解放することになつてゐる、滿洲に於ける冬季兒童の體育が喧しく叫ばれてゐる今日新京支社福祉係が全滿に魁けこの劃時代的兒童施設は各方面に一大暁鐘となり示唆することもまた尠からず多大の期待がかけられてゐる

新京音樂協會
十日協和會館で 定期第一回演奏

新京音樂協會では十一月十日午後七時半より協和會館で過般購入せるコンサート用グランドピアノのピアノ開きをかねて定期會員制による定期第一回演奏會を開催し無聊な多季市民を慰めることゝなつた曲目は左の如く入場料は五十錢であるが、一般市民多數來聽を歡迎してゐる

曲目

一、フリユート、ヴアイオリン二重奏
フリユート 安藤義彦
ヴアイオリン 李在玉
ピアノ伴奏 和泉初音
シンフオニーコンチエルタンテ作品百九第三番ハ長調

二、バリトン獨唱 大江千鄕
ピアノ伴奏 細田透
（イ）砂山 北原白秋詞 中山晋平曲
（ロ）歎かじ ハイネ詞 シユーマン曲
（ハ）片しぶき 西岡水朗詞 杉山長谷夫曲

三、ヴアイオリン、ピアノ二重奏
ヴアイオリン 李在玉
ピアノ伴奏 細田透
奏鳴曲ト短調 タルテーニ曲

四、ピアノ獨奏 和泉初音
變奏曲ヘ長調 ベートーヴエン曲

休憩 十五分

五、混聲合唱 合唱 部員
指揮 大塚淳
（イ）霜の旦 ボヘミヤ民謠
（ロ）羽衣 鳥居詞

六、フリユート獨奏 安藤義彦
ハウプトマン曲
ピアノ伴奏 網代榮三

七、管絃樂 管絃樂部員
指揮 大塚淳
組曲 第三ニ長調 バツハ曲
アリア（歌旋）
ガヴオツト（舞曲）
ジーグ（舞曲の一種）

投降支那兵大尉

支那軍の現狀が到底日本軍の敵でないことに愛想をつかして去る七月代縣に於て我原田部隊に投降した晋綏軍砲兵二十五團第五連長師常德大尉（三一）山西省出身が十一月一日北京軍報道部で在京新聞記者團と會見色々と面白い話をしたが、彼は飛行機から撒布された日本軍の投降勸告ビラによつて支那軍を脱出したもので、支那軍の兵器は日本軍のそれに比して問題にならぬ事や糧食の缺乏、待遇の劣惡は蔣に對し反感の念さへ持つに至つたこと並に今後日本軍のために出來得るだけの努力を惜まぬこと等を語つてゐた【寫眞は支那軍を語る師常德大尉】

商議解散に際し陸海軍に献金

先に新京商工公會設立せられ新京商工會議所はこれに合併せられ、殘存財產の處分に就て協議の結果議員その他の慰勞金を節じ二千圓を關東軍へ千二百圓駐滿海軍部へ、八百圓を獻金するに決し四日前新京商工會議所會頭石崎廣治郎同副會頭四戶友太郎、同寺內淸次の三氏、關東軍、駐滿海軍部へ出頭その手續を了した

日伊親善機
七日ローマ出發

【ローマ三日發國通】トリノ市の有力紙スタンパ主催日伊親善ローマ東京間長距離飛行はいよいよ七日午前零時ローマ郊外のチエントシシユーレ飛行場出發決行されることゝなつた、今次飛行の目的はローマ＝東京間往復二萬九千粁二百時間以內で往復する世界新記錄樹立を目指してゐるといはれ、したがつて東京には十時間乃至廿時間とどまり直ちに歸還飛行をなす筈で東京には十一日正午（東京時間）または午後に到着すると意氣込んでゐる

千田塚本兩家 結婚披露

滿鐵新京醫院長塚本良禎氏二女八重子さんは椎名悦三郎、四戶友太郎兩氏夫妻の媒酌により豫備陸軍少將男爵千田嘉平氏四男貞康氏と婚約整ひ來る六日新京神社で擧式、同日午後六時中央飯店で兩家關係の知名士を招待披露を行ふ、新郎は昭和八年京都帝大經濟學部を出で直ちに滿洲國大同學院に入り第二期として同年十月卒業後實業部に入り十二年七月經濟部事務官に轉じ現在に至りその敏腕を謳はれてゐる、新婦は新京敷島高女を了へ東京家政學院を今春卒業、高女で滿鐵總裁賞を、學院でも最優等で通した才媛である

練習艦隊乘組員 九日大連發來京

待望の「海の强者」帝國練習艦八雲、磐手の兩艦は來る九日午前九時卅分大連入港の豫定であるが、乘組員一行は同日正午上陸、午後六時遼東ホテルに於る官民合同の歡迎會に臨み同夜臨時列車で北行新京、哈爾濱を訪ひ十三日大連歸着、十六日午前九時拔錨離滿の豫定である

高嶺保險局課長 滿洲國入り

商工省保險局總務課長高嶺明達氏は今回滿洲國產業部文書課長に轉出のため四日左の如く發令された

商工書記官 高嶺明達
依願免本官

內地方面 素晴しい探鑛熱

【東京國通】長期建設に向つて高まる探鑛熱は素晴らしい鑛山ラッシュ時代を現出し大阪鑛山監督局開設以來の記錄を示してゐる、同局に殺到する試掘願は本年一月から增加し始め去る九月十五日鑛業相談所が開設されて以來、俄かに激增十月中の受理件數は實に五百廿七件に達し、歐洲大戰中の大正九年一月の三百五十九件を遙かに突破し、昨年十月の二百八十一件に比し二倍、昭和六年一ケ年の七百五十件に迫り同年十月の五十三件に比し約十倍と云ふ驚異的數字を示してゐる、出願を鑛種別に見れば依然として金銀銅がトップを占めてゐる

大津總長歸京

赴通中であつた關東局總長大津敏男氏は四日午前八時着列車で京歸した

丸澤滿鐵顧問

丸澤滿鐵顧問は五日午前八時の列車で來京の豫定

山崎電業副社長

山崎電業副社長は同社々債二千萬圓發行のため四日午前八時十分發列車で東上した

佐野義臣氏來社

吉野町一ノ八康德金融株式會社々長佐野義臣氏は四日就任挨拶に來社

飯田延太郎中將

【東京國通】海軍中將大日本海洋少年團理事長飯田延太郎氏は萎縮腎のため豫てから築地海軍病院に入院中であつたが三日午前七時逝去した、享年六十七、葬儀は來る五日午後二時から靑山齋場において佛式で行はれる

あす（五日）

△建國大學道場開き
△日滿支親善書道展覽會寶山
▲新京秋季美術展覽會記念公會堂

今晩の主なる放送

▲七・三〇歌謠（東京）▲八・〇〇合唱と管絃樂（東京）▲八・三〇俗曲（大連）菊五郎外▲八・四〇連續ラヂオ小說「土と兵隊」（東京）德川夢聲外

"美枝子の兄"
松竹大船作品
……小津調濃厚な出來榮え……

「花ある氷河」に次いで原研吉が監督に當る作品で、野田高梧のシナリオによるものである、この脚本は最初小津安二郎の出征以前に約束されてゐたものであると言はれる既に出來上つてゐたものであるか、それとも單にプロットだけのものであつたか、その邊の事は判りかねるが、題材は如何にも小津の好みさうなものである、これを門下生原研吉が繼承したのであるから自ら作品の調子は判斷に難くない。

□　□

描かれてゐるものは兄妹愛である。兩親なき後專門學校の教授をし傍ら小說飜譯の內職をして二人の妹弟の面倒を見てゐる兄と音樂學校志望の妹とが、買入れた古ピアノを中にして、このピアノ購入のために起つた小さな行違ひや縁談に心を痛める姿をとほして、肉親愛の交流を細やかに表現してみたものである。

□　□

事件らしい事件がある譯ではなく、又惡人の一人も出てこないところから、所謂劇的な盛り上げは何處からも見出せないのであるが、カメラの角度、小道具は勿論、家の間取りまでに拂はれた細心の配慮、この上に出演者の動きを置いて、克明にたゝみ込んだカットの繫がりから、溫い肉親愛のあらゆる表情と、こゝに通つてゐる血の流れを美しく看取することが出來る。

□　□

只、聊か危惧ありとすればこのやうな作品に原研吉の身についたものを見出すことでこれはこの有望な新人の飛躍のために執拗な足枷とならなければ幸ひである、細やかな肉親の愛情の流れを美しく描き出すことも必要であらう、然しこゝからもう一歩奥の「現實」を引出してみる事も必要なことではなかつたらうか兄妹と、これに交渉を持つ人達の小さな日常の世界からも僅か三百圓足らずのピアノ代のために一時にせよ暗い波紋の擴がる不安な生活の現實のあることが追及される、或ひはこの中古ピアノのためにこれだけの不安を抱かねばならぬ兄妹達の生活に對して、高級なピアノが彈き難いからと不足を言つてゐる金持の若夫婦がある、これらの對蹠からも同じ方向に向けられる眼があつて欲しいと思はれるのである、作者達がこれらの一面にも眼を配かしてゐたなら、この作品はもつと價値を高めることが出來たであらう。

□　□

主演者は齊藤達雄(兄)東山光子(妹)、葉山正雄(弟)河村黎吉(叔父)岡村文子(叔母)、三原純(兄の同僚で妹の戀人)など新進中堅に老練を配したスター拔きの顏ぶれ何れも好演技ながら齊藤、河村、岡村あたりは型に嵌つた範圍の好さである。誰にでも容易に訴へ得るストオリイ、スターヴアリユウはないが、興行用に危惧を與へるものではない、寧ろ安定した客足を期待出來るのではないかと思はれる。＝滿映試寫記、長春座下旬封切豫定、寫眞はその一場面【和】

毆られる彼
キヤグニー膨る

女尊男卑のアメリカで女を毆つたり蹴飛ばしたりする映畫を作つて人氣を立てたワーナーの人氣スタア、ジエムス・キヤグニーは、最初の「民衆の敵」でメエ・クラークを毆つて以來十一回も毆打の罪を犯して來たが、本當は、毆られた方が多く目下撮影中の「エンジエルス・ウイズ・ダーテイ・フユーセス」でアン・シエリダンに毆られるのを入れると合計二十六回、しかも今度のは監督マイケル・カーテイズの嚴命でやり直しに次ぐやり直しで、キヤグニーはすつかり脹れ上つた頰を押へ「なにしろシエリダン孃は體重百二十ポンドの張りきつた若い女優さんで自分の力がどんなものだか知らんのだから怖いよ」と大くさり

海江田下加茂へ

東寶ブロック今井一黨の最後のスターとして去就を注目されてゐた海江田讓二は、今回東寶渾大坊支配人とも圓滿諒解の上下加茂に轉籍することになり二十八日正式に白井副社長立會の下に下加茂入社が決定した、同社では目下好調に入つた川浪良太郎とコンビを作らせ、更生海江田を大いに賣り出すといふ、第一回主演映畫は「荒木又右衛門」の映畫化と決定監督は未定であるが、川浪良太郎、本鄉秀雄らが共演する外下加茂オールキャストの大作となる筈で年內封切を目指して近く着手される

阪妻と大河內
左膳の競演

邦畫各社の正月映畫がそろそろ決まり出したが先づ興味を惹くのは日活と東寶が片や阪妻片や大河內で「丹下左膳」を新春の鐵幕の覇を爭ふとしてゐる、日活はかつて大河內主演で當た林不忘作の『大岡政談魔像』東寶は川口松太郎作の『新編丹下左膳』で阪妻が大河內の專賣特許をどこまで侵すか、大河內の左膳がどんな印象を與へるか興味がある

滿映製作部通信

△「黎明の寶庫東邊道」森信作品、藤卷良三撮影、一日ラッシュ上り、大陸科學院の撮影を殘し殆ど完了

△「鹽業滿洲」松本光庸作品、竹內光雄撮影、新京市內を撮影の後、敦化にある加工製品工場を撮影の爲め近日出發の豫定である

△「燐寸」森信作品、藤卷良三撮影、伐材のシーンを殘して、目下整理中であるが、伐材は十二月より二月までの嚴寒期に行はれるもので、長期出張撮影となる見込みの下で準備中である

△王置信行擔當の「移民村の收穫狀況」(假題)及び、大森伊八擔當の「協和會全國聯合協議會」「保護報國」は完成した

△「萬里尋母」「壯志燭天」等々の監督をした王文濤は今回「處女的花園」で上野眞嗣監督の助手として第一歩より踏出す爲め王依之と改名して活躍する事になつた

サボテン

過般ミス東洋で百圓札二枚をチップだと無雜作にぽんと投げ出したチップ豪華版は國都ネオン街の噂雀の目玉をひつくり返へしたが人の噂も七十五日で早くも忘れられやうとする時又此話を持ち出すことは『たつた百圓や二百のことで』などまことにもつてシミツタレの感なきにしもあらずと言ふところなんだが…▼この幸運を引當てたその一人とは巴君であつたのである、たゞ一時の面識で握つた百圓札は巴君にとつては嬉しいやうなこわいやうな夢うつゝの境地、いや君の告白と言ふ譯ではない、その後當局の目が光りうれしさはいつしか恐ろしさと不安に變り彼女の小さき胸は戰いたのであつたが▼氣前のいゝ人は金滿家とその素性がはつきりと判り彼女の戰きは熄んで始めてほつと落ち着いたのである、それから巴君は早速綺麗な着物と帶を買つたのである、そして『あの人立派な人なのよ、今度は何日に來ると言つてゐたわ、とてもいゝ人なのよ』と言ふやうな具合、彼女は小鳩のやうに明るくなつたのである、この目出度結果は彼女の心からなるサービスがさうさせたのであつた、世の社交孃よ客は斷じてソ末にする勿れ、幸運はよきサービスによつてのみもたらされるのである

雜音

きのふ明治節の各館の入りは何れも仲々盛況な入りを見せ早朝割引きの客足から賑つて終日活況を呈した▼先づエノケンものにアメリカものと娛樂番組二本を並べた帝キネが筆頭にざつと二千二百圓を優に拔く揚りに氣を吐き、實演を加へた豐劇が頭數にして約三千人、揚り千五、六百は確實視される▼午前七時開映といふ破天荒の早朝興行を斷行した新キネが「路傍の石」と「赤の脅威」ニユースを並べた番組であるが、薄暗がりの開場に百三十餘人を入れたとは近頃の快トピック、ちよつと恐れ入る次第、十時には階上階下ともに滿員とは目出度い▼長春座、銀キネ、朝日座も盛況、この一方で公會堂晝間の萬歲が入つかけとなるなど、皮肉な番狂はせがあつた

晝夜用心記

三村伸太郎・作　木下大雍・畫

（八）

柳屋事件（三）

『親が、二三ン日待つて下さい。殘りの金は屆けますから……』

『ふん、二三ン日か……間違ひなく持つて來いよ』

松兵衛は、けろりと馬を曳いて歩き出したのである。

『あ、親方……』

『何んだ』

『そいつを持つて行かれては稼ぎになりません』

松兵衛は聞えぬ風に、馬を曳いて行く。

『親方ア……』

『何をしやがるんだ』

市助も、まさか、と思つて油斷してゐたのだが……松兵衛の傍にすり寄つて、拜むように觸んだのが……いきなり太い手綱で、ひどく觸、市助の頰にくれたのであつた。

『あッ……』

『市。お前もふんぎりの悪い野郎だな。俺が先刻から言つてることが、分らねエのか……はつきり言ふと、俺は、手前のような奴を、この街道で稼がすのは、蟲が好かねエんだ』

物識の連中は、駿然とした名に負ふ荒ばれ馬の、松兵衛である……ここに、お吉は、瞬間、血の氣がうせたような蒼白な顔になつた。

（畜生ッ……）

かうなれば、構うもんか……

……それきり、地上にうずくまつてしまつた市助の傍に、走り寄つた。

『市さん。どうした』

『……』

市助は、聲を出さなかつた。伯樂の松兵衛。

『お吉、市をな、よく介抱してやつてくれ……俺も悪氣でやつたんぢやなかつたが―』

ぢろりと、一瞥をくれて、馬を曳いたが……誰やら、物蔭から、松兵衛の方に來るのを感ずる。

舟次郎である。

『親方。一寸待つてくれ』

『何……俺に、用か』

それでなくてさへ、衆人環視のこの場は、どうも引ッ込みのつかないところであつた……松兵衛にとつては、好餌である。

が、舟次郎は、その意氣込んだ伯樂の親方は、おきざりにして、市助の傍に、寄る。

『どうした、俺だよ……』

市助は、ぼんやり舟次郎を見る。

『……?』

『なあに、晝間、倉澤の茶店よ……あすこの婆アが言つてゐたのは、これか……尻ッ尾のねエ白狐』

かういつて、舟次郎は、笑つた。

『市さん。結構だよ……こいつなら、だまされても、文句は無さそうだ』

やがて、舟次郎は、凄む伯樂の松兵衛と市助と一緒に、暗い、六本松の方に出掛けて行つた。

『なあに、何處で話をしても構ひませんが、親方の顔もあるし……まア人氣のない方が―』

さいふのである。

お吉は、柳屋に[illegible]へる。

不意に、横合ひから飛び出して來た舟次郎が、地獄で佛に會つたように親母しくも思はれるが、なにかまた無明の橋を渡るような心細さが、感じられるのであつた。

『お客さん、お身體の工合はどうでございます』

お吉は、市助が連れて來た客の部屋を見舞つた。

この老人は、孫兵衛といふ……白髪まじりの頭髪を亂して、苦しさうに。ふせつてゐた。

『……』

お吉は、傍に寄つて、孫兵衛の背中を撫でる。微々の骨が、かぞへられるようであつた。

お吉の臉頰に、なにか感じられる……洋燈の下にある顔蒼であつた。

商況欄　四日前場

海外經濟電報

- 倫敦金塊　七磅六志一片六分一
- 紐育金塊　三五弗〇〇〇
- 倫敦銀塊　一九片八分五
- 同先物　一九片六分五
- 紐育銀塊　四二仙四分三
- 需買銀塊　休會

▲市俄古小麥

- 十二月限　六三仙八分三
- 五月限　六五仙八分三
- 七月限　六五仙四分一

▲紐育棉花

- 現物　八仙九四
- 十二月限　八仙四九
- 一月限　八仙四三
- 三月限　八仙四一
- 五月限　八仙二五
- 七月限　八仙一六
- 九月限　七仙九二

▲印棉

- ブローチ　一六〇留比四分三
- オームラ　一四〇留比八分一
- ベンゴル　一二八留比八分一

カルカッタ麻袋

- 鐵筋　三三留比〇〇
- 青筋　三三留比八分三

▲紐育株式

- スチール株　六四弗〇〇
- アナゴンダ株　三六弗八分七

外國爲替

- 米英爲替　四弗七六仙〇〇
- 米日爲替　二七弗七七〇
- 米佛爲替　二仙六六・四分一
- 米支爲替　一六仙〇〇〇
- 英米爲替　四弗二五仙九三
- 英日爲替　一志二片〇〇〇
- 英支爲替　八片四分一
- 英佛爲替　一七八法郎七五
- 印日爲替　七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替

- 紐育向　二二弗四分三
- 倫敦向　一志二片〇〇三

阪神爲替

- 米對賣　二七片三分三
- 對英賣　一志二片〇〇一

各地株式市況

▲東京株式（短期）　寄付　大引

新東、大新、鐘紡、帝新、洋紡、日新、郵船、日石、同新、日立　[illegible]

▲大阪株式（短期）

滿業、電工、東電、日鐵、滿新、日曹、大新、新東、鐘新、滿業、日書　[illegible]

▲大連株式（短期）

五品、東新、滿業、同新、鐘紡、滿鐵、土木、豆新、大新　[illegible]

各地商品市況

大阪綿糸　十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限　[illegible]

▲大阪棉花　十一月限、十二月限、一月限、二月限　[illegible]

▲大阪人絹　三月限、四月限、五月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

▲大阪期米　當限、中限、先限　[illegible]

▲横濱生糸　現物、當限、先限　[illegible]

各地特産市況

新京　豆　先物　寄引　[illegible]

▲大連　十一月限、十二月限　[illegible]

豆粕　袋入　十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

豆油　現物、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

東京・本郷・神誠館

十一月五日　土曜　九紫　辛丑　佛滅　平　柳宿

- ●一白の人　定業さへ堅く守り居れば大なる支障はなし　丙と丁と丑が吉
- ●二黒の人　交換する文書は注意せざれば憂の種となる　庚と辛と壬が吉
- ●三碧の人　人より申込まるゝ事は成るべく避るが安全　甲と乙と午が吉
- ●四綠の人　守勢をとり表に現れず沈默するが無事の日　辰と丙と丁が吉
- ●五黄の人　名譽と人格を重ずる時は運氣向上し行く日　丙と午と辛が吉
- ●六白の人　放漫なれば事物離れん氣を締め進まるべし　辛と癸と丑が吉
- ●七赤の人　新しき運命を開く可き吉祥の日口舌は注意　未と壬と丑が吉
- ●八白の人　照ても降ても本業離れず勵めば吉日となる　丙と午と辛が吉
- ●九紫の人　御めを愼しみ怠慢なければ末吉となるべし　乙と未と丑が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢（郵税共）
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 三二〇五 營業局專用 三三〇〇
發行人 河本榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

敗敵追ひ富水河畔西進
通山城を占領す
城内に日章旗翩飜！

【南京四日發國通】中支軍四日午後五時發表＝わが軍は四日富水河谷の要衝通山（辛店舗西方四十キロ）を占領せり▼【靈泉寺四日發國通】富水河畔を西進するわが部隊は敗敵を追つて急進また急進、飛行機よりの偵察によれば、四日午前九時通山縣城はわが軍によつて占領され日章旗は翩飜とひるがへつてゐる

急襲、楠林橋を占領
咸寧南進部隊　早くも崇陽肉薄

【靈泉寺四日發國通】咸寧より南進するわが岡崎部隊は敵の二個師を蹴散し四日正午楠林橋を占據した、楠林橋は崇陽北方八里、長沙、咸寧街道上の要害である、約二萬の敵は死者狂ひとなつてこの要害に據つてわれを喰止めんとしたが、わが猛攻の前に空しく潰走した、敵は退却に當つて火を放ち目下楠林橋は炎々天を焦してゐる、岡崎部隊は引續き砲兵部隊の協力のもとに南方及び西方に戰果を擴大、一部は楠林橋より西方二里に進出した、かくて崇陽の陷落は一兩日に迫つた

【靈泉寺四日發國通】楠林橋に對するわが急襲ぶりは實に神速果敢であつたゝめ敵は約二萬の大軍を擁しながらもろくも潰えた、狼狽した敵は西南に向つて潰走中であるが、航空隊は四日午前十時頃これより退却中の二百餘の騎馬隊を爆擊、三分の一は即死、他は四散せしめた、これは通山崇陽守備司令官一行とみられてゐる、なほ敵は乘用車二臺のほか多數の武器、彈藥を遺棄した

蒲圻、崇陽間の道路遮斷

【蒲圻四日發國通】人見部隊は四日午後蒲圻、崇陽道路を遮斷した、これにより湖北南部省境及び湖南省の敵に多大の脅威を與へることゝなつた

匪首范築先悶死

【濟南四日發國通】さきに臨淸及び東昌方面にあつて執拗に津浦線妨害や後方攪亂を行ひ第八路軍の影響で共產匪化した范築先は度重る我討伐に蠢動も失敗續き、その上山東省首席沈鴻烈とも仲が惡く過般わが手島討伐隊の爲めその一指を失ひ更に最近部下の共產化に統率意の如くならず悶々の裡にあつたが去る廿五日臨城に於て悶死したとの說が傳はつてゐる

廣東、廣西軍
省境附近で同志討

【廣東四日發國通】十一月一日以來廣東廣西省境德慶上流の各所で廣東軍と廣西軍が同志討ちをなしてゐるとの情報が沙面の外人筋に傳へられてゐる、即ち去月廿一日皇軍の廣東占領に西江を遡江して潰走した廣東軍と廣東軍に增援のため梧州を發して來援中の廣西軍二個師が德慶附近で出遭ひ廣西軍は殆ど抵抗もなさず廣東を拋棄した廣東軍の無氣力を詰りその退却を阻止せんとしたことから同志討ちとなつたもので、この衝突は一日以來各所に行はれてゐると

山西北部要地の第八路軍、共產匪を掃蕩

【濟南四日發國通】山東省魯北地區における第八路軍及び共產匪の大掃蕩及び魯西地區における狀況左の如し、わが討伐隊は晩秋の荒涼たる山野を馳せ潜る敵匪を徹底的に討伐し武定、商河、陵縣等に次ぎ一日臨邑を占領して魯北の主要點を殆んど掃蕩したが、匪團は到る所に擊滅され右往左往各地に逃げ廻つてゐる

魯北方面 一、吉田快速部隊は十一月一日賈河家（臨邑東北八キロ）に五百の敵を擊破した後敗敵を急追同十二時半臨邑縣城を占領更に一帶を掃蕩した、敵の遺棄死體八十九

二、石田部隊は同日午前七時馬集（商河西南約八キロ）の五百の敵を急襲殲滅的打擊を與へた、敵の遺棄死體九十六、更に臨邑東北を敗走中の敵匪七、八百を攻擊潰走せしめた、この日のわが鹵獲品小銃多數、自動小銃六、小銃彈十一萬三千六百、拳銃九、同彈五百八十八、手榴彈百五十三、電話機、青龍刀、被服等多數

三、更に同日澁谷快速部隊は臨邑西北方劉庄において五百の敵と遭遇これを擊破した、敵の遺棄死體二十一

魯西地區 一、遠藤討伐隊は三十一日より一日に亘り東平附近一帶を掃蕩

二、山本討伐隊は二日周村及び北頭の石友三系敵匪二百を攻擊、これを擊破した、敵の遺棄死體二

なほ三山界河西方にある匪首張允仲は十月二十五日岳城及び賈河畔に蟠踞してゐたが部下七千を率ゐて廿五日皇軍〇〇警備隊に出頭歸順した

東亞新事態に即應
列强の認識是正
日本帝國の外交方針

【東京國通】政府は三日武漢陷落後の新段階に對處する根本的態度を闡明したが、今後帝國外交は此根本方針に即應して相當活潑なる動きを見るものと豫想されてゐる、即ち帝國聖戰の目的は東亞永遠の平和を確立する新秩序の建設であり、これによつて眞の世界平和に寄與せんとするものであるが故にこの目的完成に向つて外交方面においても凡有る努力が續けられるわけである、もとより帝國は正當な第三國權益を尊重することには何ら變りないが、今次聖戰によつて帝國は東亞の安定勢力として政治的優位性を確立し列國は今後日本の諒解なくして東亞を論ずるの資格を失ひその好むと好まざるとに拘らず東亞においては帝國外交の指導的地位を認めざるを得なくなるは明かなので列國に進んで新事態を認識することが權益保持の先決必須の條件たるを知らしめ殊に英國政府は歐洲大戰當時「英國は支那において豫め日本との諒解なしに支那と經濟借款について商議することなし」との對日申入れを想起することが望まれてゐる

また九ヶ國條約に關しても帝國は門戶開放、機會均等の原則についてはその本來の姿である經濟的範疇における門戶開放、機會均等に何ら異議を差し挾むものでない事はいふまでもないが、元來支那の天地が歷史に徴して見るも明かな如く帝國主義的野心に基く列强角逐の犧牲となり常にその平和と獨立とが脅威されてゐる狀態なので眞に現下の世界に必要なる公平なる均衡の上に築く平和招來のため政治的底意を粉飾した僞裝門戶開放主義は帝國の根本方針と絶對に相容れないところで、この點列國においても日本の意圖する眞の正しき平和を諒解、新秩序の建設に協力することが要望されてゐる

有田外相は近くその外交方針を中外に闡明する筈であるが何れにしても今後日本は着々禍下にある凡有る事態を根本的に修正し正義に基く平和體制確立に積極的に働きかけ列强の認識是正に邁進するものと見られてゐる

晴の陸戰隊閲兵式【歩武堂々漢口日本租界行進】

南京會議 臨時、維新兩政府要人の初會見【王委員長、梁委員長他要人連】

中央政府樹立運動
今や全國的に擴大す

【南京四日發國通】中華民國統一の中央政權樹立要望の聲は漢口陷落を契機として民衆の間に急速に昂まりつゝあり去る二日の聯合委員會南京會議における打倒蔣政權、反共救國の宣言發表によつて一層その機運を促進するところとなつたが、こゝに注目すべきは早くも維新政府治下の各地方において中央政府樹立の民衆運動が起りつゝあることで廿六日杭州及び海寧における反共統一政權樹立運動に續いて蘇州、崑山、鎭江、揚州等各地において反蔣民衆運動並に中央政府樹立の示威運動が展開され、この民衆運動は漸く全國的に擴大するに至つた即ち來る六日には更に南京、上海、蘇州の各地において民衆の手によりそれぐ盛大な反共救國統一政權要望の第一次大民衆大會が計畫されてをり、今や支那民衆の間にこの運動が益々昂揚されんとし、その成行は多大の注目を惹いてゐる

張總理感謝電に
獨外相懇篤な回答

訪獨經濟使節團のドイツにおける熱狂的歡迎に對して張國務總理よりさきに獨逸外相リッベントロップ氏宛感謝電を發したが、右に對し獨外相より左の如き回答が寄せられた

ベルリン一九三八年十月十三日

國務總理閣下

閣下は御懇篤にも滿洲國特命全權大使經濟部大臣韓雲階閣下を通じ余に一書を寄せられ特に拜受仕り候、我兩國家間の關係に開かれたる喜ばしき進展は滿足に堪へざるところにして修好條約締結による外交關係の開始が可能となりたる後最近調印せられたるドイツ國及び滿洲帝國間の貿易新協定はこの進路における一層の發展を意味するものに有之候、余は閣下に余ならびに國民が貴國において果されつゝあるかくも成功せる建設工作に對し最大の敬意を抱くものなることを確言致すべく候、滿洲國皇帝陛下の賢明なる御統治の下に貴國は僅々數年を出でざるに輝かしき國家へと發展せられ候、革命の破壞的なる諸力に對する秩序の防壁として貴國は世界平和の保持に對し價値多き寄與をなされたるものに候、余は閣下と日本への共通の友好において相互の信頼と良き意思との精神をもつて吾等兩國家の今後の協力への希望を倶にするものに有之候、滿洲國の修好經濟使節の派遣は特に地理的な距離を乘越へ獨逸國と滿洲國とが互に接近することに貢獻せるものにして、これは余の非常なる喜びとするところに有之候、余は使節の隨員諸賢も亦同樣なる印象をもつて故國に歸還し、その訪問が滿獨友好を新たにし實り多きものとするならんことを希望仕り候　敬具

リッベントロップ

首相演説に感動
大公報社説で論述

【香港四日發國通】日本政府聲明並に近衞首相の演説は國府側に相當甚大な影響を與へたものゝ如く四日の大公報は右に關して社説を掲げ蔣政權の一地方政權顛落並に聯ソ容共の事實否認に躍起となつてゐるが、一方近衞首相が日本は中國を亡ぼすに非ずしてこれと協力して眞の東亞の安定を希望してゐるものだと述べてゐるが、この論たるや言々人を動かしわれらを感動せしめた、近衞首相の地位は今や東亞全局百年の運命を決し得べき重責をもつてゐる、吾人は中國人を悲慘なる狀態より救ふのは近衞首相の努力に待つところが多いと考へてゐると述べてゐるのは注目される

植田司令官

植田關東軍司令官は三日着旅、直ちに蒼長官々邸に入り四日官邸發要港司令部に至りついで賀金山、模珠礎を視察した

孫呉移民訓練所建設總本部全燒

三日午後二時半頃孫呉移民訓練所建設總本部に起居してゐた自動車運轉助手訓練生後藤博君（一七）（秋田縣）がストーブの燃えないのに焦慮して揮發油を注入したため大音響とゝもに爆發、またゝく間に木造の同本部を燒きつくし三時半鎭火した、損害銃器、自動車部分品その他總計一萬圓、なほ後藤君は大火傷を受け手當の甲斐もなく死亡した

林事務官來京

北支蒙疆滿鮮視察旅行の途にある對滿事務局事務官林孝喜氏は四日午後八時十五分着列車で來京滿洲國總務廳神吉次

第三國との不祥事件防遏
各國に覺書送達

【上海四日發國通】武漢を占領した皇軍が息つく遑もなく敵を急追、戰果を擴大しつゝあるに鑑み帝國政府は揚子江上流において第三國との間に不祥事件の發生を豫防する目的をもつて左記の覺書を作成去る二日後藤一等書記官から各國大使宛に發送すると共に日高總領事からも上海領事團首席宛送達した

一、漢口攻略戰中その上流長沙附近にいたる水域は激戰行はれたるが漢口攻略に伴ひ今後沙市長沙に至る揚子江及び之に連接せる水域一帶は戰鬪地區となり且つ激戰が豫想せらるゝをもつて右水域にある第三國艦船はその上流出來得る限り遠くに避退方取計られたし

二、漢口上流揚子江流にその連接水域にある第三國船舶の所在及び行動を追進に在上海帝國海軍先任指揮官を通じ通知ありたし

三、從來第三國との間に不幸なる事件發生を防遏せんとするわが方の努力と希望に對し列國の協力ありたるはわが方の多とするところなるが、船舶通報等に關し未だ協力を與へられざる國に對してはわが方屢々の申入れに鑑み今後一層の協力を望む、なほ從來わが方よりの申入れにおける「某地より上流揚子江における艦船の所在通報」とは某地より上流全水路にある艦船の通報を求むるものにして今は帝國飛行機の行動し得ざる雅灣水域は支那全土の何處にもなき次第につき距離の遠近を論ぜず艦船の所在及び行動の通報を求むるものなるにつき注意を喚起せられたし

協和會總務部に庭川氏轉出

奉天省官房庶務科長庭川辰雄氏は今回協和會總務部に轉出することとなりその後任には瀋陽縣副縣長馬込信一氏が決定した

使節團一行

【パリ三日發國通】滿洲國修好使節團員一行は三日ロンドンからパリに到着した、日本大使館では一行を迎へて四日夜歡迎晩餐會を開く豫定

長、關東局田中交通監督部長、駐滿海軍部村井副官、岩坂海友會長等の出迎へをうけヤマトホテルに投宿した六日午後九時五十分の列車で離京の豫定

人事往來

▲押川一郎氏（滿鐵）四日來京ヤマトホテル
▲北原頎成氏（滿航）國都ホテル
▲末松米市氏（同）同
▲宮本重房氏（貿易商）同
▲小宮熊男氏（大日本ビール）同
▲鐵林租氏（中銀）同
▲三浦一雄氏（日滿商事）同
▲久松治氏（同）同
▲新井靜二郎氏（滿鐵）同
▲池田龍雄氏（大倉商事）滿蒙ホテル
▲酒井秀勘氏（滿洲セメント）同

偶語

全滿に魁け近く新京に冬季子供を育てる「兒童の家」が新設される▼冬の永い滿洲の冬季における保健に關しては結核豫防協會あたりが音頭をとつて一般の關心を深めつゝあるが▼これは主として大人に對するものであつて最も大切な第二國民たる兒童の冬季における保健衞生については殆んど閑却され未だ具體的施設を見ないとき▼新京滿鐵支社が新京に冬季兒童の體育並に保健を目的として「兒童の家」を新設することになつたことは確かに一大曉鐘と云つてよい▼かゝる施設が國都に生れることはその施設が何處の手でなされやうとも兒童のためには最も祝福すべきことである▼かゝる重要な事業をいつまでも滿鐵から示唆されるまでもなく特別市公署あたりが率先してその施設をなすだけの職務に對する眞劍味があつて欲しいものだ▼市民に低廉な牛の乳を贈ることは市民として最も望むところであるが牛の乳は机の上からは出て來ない▼お先棒を擔ぐ事もよいが市公署は資本家の傀儡にならぬやう先づご用心

社説　汪兆銘の談話について

汪兆銘が最近に外人記者に語つた談話といふのが傳へられてゐる。その要旨は「支那は目下日本軍の侵略を受け危機の關頭に立つてゐる。今ソ聯は支那に對して同情的な態度を取つてゐるがこれがために支那を共產化することはない、支那に對する同情者はみな友であるだけだ、先般歐洲における戰爭の危機回避は我々の最も欣快とするところである、我々は侵略を受け已むを得ず戰爭をしてゐるが、また第三國の和平調停を拒むものではない、しかしこの場合調停が成功するや否やは日本側の條件次第によるもので支那の生存と獨立を危ふくしないといふ條件が先決條件である、これを認めねば談判の餘地はない」といふものであつた。

これを見ると、汪兆銘の如きにしてなほ今日の事變を生ぜしめた眞因を見究めやうとせず已れに都合のいゝ勝手な議論ばかりやつてゐられることが知られる。或ひはその眞因を知りつゝ敢へてこれを言ひ得ず、外に對して聞えのいゝ論理のみを振り廻してゐるのであるかも知れぬが、何れにせよ抗日國民政府の救ひ難い運命はこゝにも露呈されてゐると言ひ得やう。ソ聯の同情について言ひつゝ、これがために支那が共產化することはないと言つてゐるのは、その他の列國が支那の共產主義化について憂へてゐることを知り、これがために列國よりの支援を失ふに至ることを恐れてゐることを自ら物語つてゐるものと思へる。

汪兆銘の言ひ分の中で注目されるのは、今日に至つてもなほ彼が第三國の和平調停といふことに幾分の望みを持つてゐるらしいことである。これは日本の力といふものを正當に評價することが出來ず、また今次事變に對する日本の決意といふものを間違ひなく認知することの出來ぬ彼の認識不足から來てゐるであらうが、今なほ抗日陣營にある支那人首腦層の一部の心理を表白したものでもあらう。しかしそれについてなほ「調停の成功するか否かは日本側の條件次第による、支那の生存と獨立を危ふくしないといふ如きことが先決條件である」といふ如きことを言つてゐるのは、支那人一流の面子意識の現れでもあらうが、今日となつてはもはや到底その實現の日なきことを知るべきなのである。日本はすでに國民政府を相手にしないのである、どのやうな第三國の策動があらうとも和平論如きに耳を藉す筈はないのである。汪兆銘のこの言ひ分は、たゞ列國の前に自己の體面をつくらはうとの意圖に出たものに止まるであらう、そしてまた國府治下の國民の信頼を「つなかう」との效果をも狙つたものであらう。

華僑の離反に 蔣、懸命の哀願
敗戰糊塗に汲々

【香港四日發國通】廣東失陷後華僑の失望甚しく蔣介石に對し詰問狀を寄せるもの日に數十通を超えるといふ實狀にあり、華僑の離反を憂へた蔣は特に華僑に告ぐるの書を發表し例に依つて夢のやうな最後の勝利を宣傳し繼續援助を求めた、同時に中央海外部僑務委員會も華僑に打電し中央を信任して援助を繼續されたいと哀願敗戰糊塗に汲々たる有樣である

南京會議の收穫

【上海三日發國通】二、三の兩日に亘つて開催された第二回聯合委員會南京會議の最も顯著なる收穫は、臨時、維新兩政府の基礎がいよ／＼

確立 し、統一中央政府樹立の前奏曲たる聯合委員會が極めて現實的な步調を辿つてゐると云ふ印象を全國民衆に强く與へたことである、それには勿論廣東及び武漢三鎭陷落と云ふ決定的な支那事變の新段階によつて釀し出された政治的雰圍氣が力强く作用した事實も見遁し難いものであるが、同時に兩政府が皇軍の輝かしい戰果の前に一層奮起し蔣政權打倒反蔣救國の旗幟も鮮かに全國民衆に向つて反省と奮起とを確信を以て要望し且つ期待するに至つた態度も亦特筆强調に値する、三日の宣言發表の式場にあつて親しくその光景を目擊した一要人は首席委員王克敏氏が音吐朗々と打倒蔣政權の宣言を讀上げた態度を評し

去る 九月廿二日の第一回聯合委員會北京會議當時には決して見受けられなかつた如何にも自信に滿ちた態度であると語つたが之は一言よく總てを評しさつた言葉で臨時、維新兩政府が愈々腰を下して新興支那建設の政治、經濟工作に邁進しつゝあることをよく物語つてゐる、更に第二の收穫は打倒蔣政權、反共救國の全國民衆大會開催の方針を決定し、容共抗日の殘存政權に對抗し皇軍の戰果擴大と相呼應して全國的に啓發宣傳の大國民運動を展開することになつたことである、この國民運動は統一政權の樹立について十分に民意を洞察し、その赴くところに隨つて堅實にして强力なる中央政府を設立せんとする遠大且つ周到なる理想と計畫に出發したものであつて、今次の南京會議が統一政權問題を正式議題から

削除 し豫備會談に止めたのも拙速を排せんとする兩政府並びに關係當局の一致した見解によるものであつた、たゞ遺憾の點をあぐれば北支、中支の經濟復興問題殊に金融問題につき聯合委員會が何等の具體的結論に到達しなかつたことである、これは二、三兩日にわたつて作られた議事日程を第一日の午前中に一瀉千里をもつて議了したことでもわかる通り支那經濟の復興、日支經濟提携の上に現に山積する諸案件を考へ合せれば大陸經濟建設の遂行途上些か物足りないものがあつたが、これも三日梁鴻志、王克敏兩氏の談にもある通りまだ中支、北支ともに治安工作第一主義の時代を脫しきらないとすれば或はやむを得ぬことであらう、今後に殘された統一政權問題については北京、南京兩政府ともすでに腹案は十分に練つてゐる模樣であるから蒙疆自治政府及び今後誕生すべき漢口、廣東各新政權の

動向 如何によつては急速に具體化することにならう、これら新政權の參加をまつて第三回の次期聯合委員會を開くか或は次期聯合委員會を開いた上で新政權の參加問題を討議するかは今後中國の政治的、軍事的諸情勢を暫く見定めた上で決定せんとする意向のやうである、而して現下の急務はわが對支中央機關及び現地機關が一日も早く設置されねばならぬことが痛感され、わが對支方針確立と對支機關及び聯合委員會事務局との緊密活潑なる連絡活動が開始されぬ限り統一政權問題、經濟復興問題より本年末開催豫定の第三回聯合委員會に多く期待されることは困難であらう

窮餘の敗將蔣介石 遊擊戰法に轉換
共產黨の動向注目さる

【北京三日發國通】武漢及び廣東喪失によつて支那軍の抗日戰鬪力は著しく弱化すると共に質的に大轉換を行ひ、從來徐州、漢口などに於る大軍集結による

會戰 は既にこれを回避し、中國共產黨の所謂抗戰第二期に於る遊擊戰に轉ずるものと見られるが、この戰鬪形體を主要な抗戰手段とするに於ては抗戰イデオロギーに於て共產軍が黨軍に對して一部の優位を有つことは明かで、第八路軍、第四路軍の名によつて代表される中國共產黨並に之が强力なバックとしてのソ聯の動向は事變今後の立役者として戰局の前途に鮮明にクローズアップされることになつた

武漢陷落以後の抗日勢力は對外的には

一、英國の對支援助の薄弱化
二、財政的一基礎としての列國が廣東陷落を機として新政權支持に傾きつゝあること
三、印度支那經由の西南ルートがわが外交當局の對佛强硬申入れによつて多くの期待を有ち得ざること
四、その他各民主主義國家の精神的物質的援助が著しく稀薄化したこと等により期待し得らるゝのは僅かに西北ルートに依らるソ聯の武器並に技術的援助のみとなり

對內的には

一、蔣の統制力が廣東陷落の責任者余漢謀をすら處刑し得ざるまでに弱化したこと
二、和平論の昂揚及び參政會の規約改正などに現はれた抗戰首腦部の不一致
三、武漢及び廣東戰に於る五十萬に上る兵員の損失と夥しい新銳武器の喪失
四、共產軍が戰線の表面に出なかつたこと及び抗戰の結果釀成された共產黨組織强化への客觀的基礎を著しく增大したこと

などにより從來國民黨によつて保持されて居た合作政府の中心が次第に共產黨に移動しつゝある

狀態 を示し抗日支那の全線は一轉その赤色の濃度を急激に增大することになつた、かくて全支に亘る事變の相貌はその本來的な防共日本と共產支那の抗戰とによりその戰鬪形勢は占領地の和平と樂土建設を目指す皇軍の討伐に對する後方攪亂に終始する共產黨指導の遊擊戰の對峙となり北支共產軍主力たる第八路軍は深甚なる注視を浴びることになつた、北支における遊擊活動は從來その武力的中心を五臺附近に、その智能的中心を天津の外國租界に置き冀察、晉北方に執拗なる遊擊戰と、天津などに於るテロ行動を續けてゐたが武漢陷落後は殘された唯一の赤色ルートたる蘭州新疆ルートに對し至大の脅威を感じ、第八路軍の中心を蘭州に置き洛陽附近の同ルート防衞陣地を西安にまで後退せしめ、ソ聯との連絡保持に汲々たる狀態である、一方北支

五臺 は過般のわが軍の攻略により失はれ、天津租界の策源地はわが方の適切なる措置により着々崩壞しつゝあり、河北遊擊戰の組織化は放棄の已むなきに至つた模樣で持久戰を豪語する遊擊戰地區は次第に西北方に後退しつゝあり、ソ聯の援助程度の如何によつては支那軍の西北僻地への逼塞、北支明朗化の完成は至近にありと見られてゐる

ブリユッヘル元帥 既に處刑されたか
裏書する新事實また現はる

【モスクワ三日發國通】曩に逮捕拘禁された前極東軍司令官ブリユッヘル元帥の身邊については或はモスクワ監禁說或はすでに處刑された等種々の風說があるが、又復處刑說を裏書するやうな事實があつた、即ち三日のプラウダ紙およびイズヴエスチア紙は過般物故したスターリンの義弟アリリユイエフ中將に對し國防省幹部廿七名の名を連ねて弔辭を出したが、その中にはブリユッヘル元帥および國防次官フエジコ將軍の名が見當らず當地一般ではブリユッヘル元帥は既に處刑されたものと見てゐる

廣東東方の地理的懷古（七）
大宮權平

皇軍の南支上陸以來、神速果敢決河の勢を以て、進擊したる惠州、增城地方一帶の風物は、北支と全然其趣を異にし、山に樹木叢生し、平地に水田多し、就中特記すべきは熱帶植物の榕樹繁茂しあり遊歷中頻々來する驟雨に際しては、急遽此樹下に避くるを例とせり、榕樹英人は「バーヤンツリー」と呼び邦人は「ガヅマル」又「ガジユマル」と謂ふ、其枝懸垂して氣跟となり、終に地中に入りて幾十條の柱根を生じ、一幹株にして、數百坪を蔽ふもの珍しからず、其幹材は器具製材となる、我邦臺灣琉球諸島に存す、尙宮崎縣東岸の青島には、神樹として保護せられあり、前述避雨の際、不圖仰視し、種々雜多の小蛇、枝間に蜿蜒蟠屈、其多きに一驚したることあり、次に水田面には家鴨の大小群放飼せられ、夕陽牧童に驅して歸落する頃、偶水田畦畔十字路に、兩群遭遇することあり、其混亂雜沓名狀すべからず、然れども須臾にして、各其所屬を認識して、分進するの狀は一奇觀なり、行旅者に瞠目せしむるに足る、却說、地名上慣用文字北支と異なるの例を擧ぐれば（但見聞に止まるを以て發音に多少の差なきを保せず）

墟（ヒ）　月六回の市日あり地方的大部落にして北方黃河流域の集に同じ
巷（ハン）　小市街の形をなしたる部落福建省內にてはポンといふ
仔（キヤー）　分離したる小村名
岩（ギヤム）　磽确地にある村名
石（チヨ）　山側の岩石多き村名
坪（ペン）　稍平地なる村落名
洋（ヨン）　曠濶なる地方の村名
田（ツアン）　平地の村名
科（コー）　村落名普通
鑑（ナー）　山間の村名
林（ナア）　右同
㘭（アオ）　山地の低き鞍部の稱
訊（シン）　四周水流ありて一區域をなす村名又小なる廳舍にも使用す
潭（タン）　水澤ありて深き箇所ある村落名
漯（ムー）　小河川に沿ふ沙地村落名又礫をも用ふ
溪（コイ）　山間谷口に位置する村名
坳（アイ）　山谷又は斜面の凹部にある村名
排（パイ）　兩山相迫る所
內（ライ）　山間の小村名
中（ツン）　山間深谷の村名
脚（ヤヤー）　山麓に位置する村落
尾（ホエ）　山の突出したる部分又は岬角の村落名
塢（ウー）　平地にありて稍高き村落
圩（ウイ）　四周に土堤ある村落
坨（トー）　土砂の堆積しある村落

現惠陽縣城西、一水を隔つる舊惠州府城、北門內の白鶴丘上に、蘇東坡の故居あり、城外豐湖一名惠州西湖の畔に、朝雲の墓址あり、朝雲姓は王氏、錢塘の名妓と謳はる、東坡錢塘に官たりし時、納れて常侍者となす、紹聖年間、東坡惠州の知となるや、家人皆散し去りたるも、朝雲獨り隨伴す、奉仕する前後十三年、卅四歲にして病歿す、東坡之を憐み、墳塋し悼詩を作る、象限一轉、惠州增城間街道北方に方り雲表に聳ゆる大岳あり羅浮山と謂ふ、粵省著名の石山なり、連峯截ひ立ち四百三十二を數ふるといふ、羅山の絕頂を飛雲峯といひ、浮山の絕頂を蓬萊峯と呼ぶ、羅頂の西を上界三峯と呼び、聳立削壁、躋づる能はず、其下に石梁あり、浮山と連接す、故に併立の二山を羅浮と稱す、道教に於ては此山を神聖視して、天下の第七洞天として、朱明耀眞之天と尊稱せらる、這般廣東軍は皇師の電光石火的の進軍に、威壓せられ、この天與の山稜線だに、防禦設備をなす能はざりしは、天の命か、我神速の功は、洵に偉大なりしと謂ふべし

附記　增城縣境內には掛綠荔支を產す、聞粵地方荔支中の第一佳品との定評あり。（一三／一〇／二五）

外務局の機構擴大 愈よ來年度より
日本から高等官二名招聘

政府は滿洲國の國際的地位の向上に對應しかねて外務局の機構擴大を企圖し事務當局に命じ原案作成を急がせつゝあつたが、この程成案を得たので近く國務院會議に附議決定し來年度より實施の運びとなる筈である、擴大後の外務局機構は大體左の如きものと確聞する

一、次長制を設け長官を補佐せしめる
一、政務處を强化しロシア關係部門の人的增員を行ふ外一科（第四科）を新設し條約事務を管掌せしめる
一、官房の人的增員を圖り特に交際科を充實する
二、駐哈特派員公署に調査班を設置しソ聯關係資料の蒐集に當らしめる

なほこれがため日本外務省より高等官級二名が招聘される

日本政府聲明に 獨、伊全幅的支持

【ベルリン二日發國通】日本政府の對支新聲明は二日午後ベルリンに到着したが、ドイツ政府筋では極めて好意を以てこれを迎へてゐる、特に同聲明中に盟邦ドイツ、イタリーの友好的態度に對し正式に感謝の意を表したことを多とすると共に官民一致物心の兩面において、國家總動員態勢の確立に邁進しつゝある日本國民の努力に敬意を表してゐる、一方ドイツ政界では日本の今後の對支工作により新支那政權のもとにその經濟建設が躍進的發展を遂げるものと期待してゐるが、これに對するドイツ政府の態度に關し消息通は大要左の如く觀測してゐる

今後新政權の輪廓が決定し對外政權が判明すればドイツ政府は勿論率先して新政權を承認することゝならうが、差當り當面の重要關心は經濟接近の問題である

【ローマ二日發國通】日本政府の對支聲明は二日午後ローマに達したが、右に對しイタリー政府は全幅的支持の態度を表明して居り、支那に新政權が成立し日本政府がこれを認むればイタリー政府はドイツと共に速かにこれを承認する意向で目下上海に待機中の新駐支大使をして新政府に信任狀を捧呈せしめる豫定と言はれる、要するにイタリーとしては日本の正しい主張がその儘遂行されぬ限り東亞に眞の平和は招來されぬと言ふ信念に變りなく恐らく政府は三日中に何等かの形式で日本の聲明を全幅的に支持する旨の意思表示を行ひ日本への協力の態度を全世界に表明する模樣である

フランコ政權 駐日代表任命

【東京國通】フランコ將軍の新スペイン國民政府では今回同國唯一の國家的政黨フエアランヘ・エスパニヨーラの日本代表として滯日三十餘年の親日家イー・エレラ・デ・ローザ大佐を任命した、同大佐は本年六十八歲、日露戰爭の勃發直後スペイン政府より觀戰武官として派遣され旅順攻略戰から奉天大會戰までつねに乃木大將について觀戰した戰後一旦歸國、二年後に再び駐日武官として來朝以來歐洲大戰當時は青島攻擊およびシベリア出兵に日本軍に從軍した最古參の外國武官だ、大正十五年隱退したが祖國スペインの同胞相剋の政情にあきたらず第二の故鄉たる日本に永住を決意十幾年代々木の自邸に靜かな生活を送つてきた、一昨年末祖國に內亂起るや自分の後輩たるフランコ將軍のために聲援を送るとゝもにカステイヨ前代理公使（當時神戶領事）等を蔭より助けたがフランコ將軍の感謝の印として今度フエアランヘ・エスパニヨーラ日本代表の地位を與へられ一生日本スペイン親善に盡すことゝなつたものである

武漢產業界復興 短時日に望み得ず

【漢口二日發國通】武漢三鎭を完全に確保したわが軍は〇〇特務機關長五十嵐憲兵隊長花輪總領事を中心に早くも三鎭の經濟復興に必死の努力を續けてゐるが、まづその第一着手として武漢產業界の中心をなしてゐた紡績會社の被害調査を行つた、第一、民生、華裕（支那人經營）の三工場は各七千乃至一萬五千錘を有し泰安紡績（日本人經營）三萬錘に達し湖北、湖南兩省產の棉花を吸收して活潑なる操業を繼續してゐたが事變勃發とゝもに民生、裕華の二工場は閉鎖し第一紡績は漢口政府唯一の綿布工場として軍用化し漢口陷落の直前まで運轉してゐたもので、十月十日頃より蔣の命により泰安紡をはじめ各紡績工場の機械全部を長沙に移轉し泰安紡は廿四日夜日本租界の爆破とゝもに支那軍により徹底的に破壞せしめられたものである調査班員はこの慘狀と支那側紡績の空虛な工場に茫然として武漢產業界の復興は短時日には到底不可能だと嘆じてゐる、なほこの調査により日華製油工場及び漢陽にあつた日本棉花プレス工場も完全に爆破されてゐたことが發見されこれら武漢三鎭にある日本人所有の工場は全部破壞されてゐたわけである

郵船年六分据置

【東京國通】日本郵船では四日重役會を開き當期利益金處分案を査定するが、配當は年六分据置となる筈で廿五日開催の定時株主總會に附議するなほ今期をもつて任期滿了となる取締役副社長渡邊水太郞氏は後進に道を拓くため勇退することに決定した

東北興業總裁に 横山助成氏起用

【東京國通】八田嘉明氏の拓相就任に伴ふ東北興業株式會社總裁、東北振興電力株式會社社長後任は四日の閣議で元警視總監横山助成氏を起用するに決定、同日發令された

佳木斯行配船

打ち續く最近の暖氣と本筋未曾有の增水に結氷の目鼻つかず第一次、第二次と矢繼早に臨時配船プランを樹て珍しい封江異變に嬉しい悲鳴をあげてゐる航業聯合局では一兩日中にさらに第三次配船を發表六日の哈爾濱丸をもつて本年度航運にピリオドを打つことになつてゐた佳木斯船就航日程を當分再延長することゝなつた

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金二萬五千九百五十九圓五十錢五厘（關東軍司令部へ）
一慰問袋千三百五十個（同）
一金七十圓軍用家畜慰問金（同）
一金三百圓也（國防館募金へ）
一金五千一百六十八圓三十四錢（駐滿海軍部へ）
累計三万一千四百七十七圓八十四錢五厘
……十一月四日迄の分……

哈市取引所落成

哈爾濱取引所新築落成式は明治の佳節を卜し三日正午より新館會議室において在哈日滿名士多數列席のもとに開催、島田理事長の挨拶後工事概要報告、經濟部大臣ほか來賓祝辭あつて式を終へ、續いて立會市場內において祝宴を催し午後二時散會した、なほ新取引所は約五十萬圓の巨費を投じ近代的取引所としての諸施設を完備した全滿唯一の威容を誇る建物である

八田拓相西下

【東京國通】八田拓相は四日午後十時三十分東京驛發西下、五日午前伊勢神宮に參拜親任奉告をなした後畝傍山御陵並に橿原神宮に參拜、六日京都發途中熱田神宮に奉告參拜、七日午前七時十分東京驛着歸京の豫定

朝鮮家畜市場 取締規則公布

【京城支局】家畜增產計畫遂行の半島には馬匹賣買取締規則の制定なく各家畜市場で取引される程度に過ぎず然も家畜市場業會の實施なき朝鮮では不正仲買人の介在による農家自體の利益削減を餘儀なくせられつゝある現狀に總督府農林局では警務局と協力してこれが取締規則並に家畜市場業令の制定公布を急ぎつゝあり明十四年度には之れが實施を見るべく準備中である

讀者の領分

投書歡迎　中傷不可

宗教の堕落を難ず

かういふエピソードがある、徳名の高かつた僧侶の臨終をその主治醫が語つたところによると、二人とも平常の行説に似ずいかにも生への執着が見苦しかつたことによつて、それを知つた人々はこの二人の高僧は單に觀念的饒舌に耽つて生涯自らの覺悟を怠つた結果醜悪なる臨終を迎へたものと斷じた。自損損他を致へて犯しつゝある今日の多數の僧侶群に強い反省が要請さるゝ所以であるまいか、レーニンは宗教は阿片なりと喝破して其の害するところを說いた今日の宗教特に佛教が阿片の害毒を流してゐるか、乃至は濟世の實を擧げてゐるかは、此所に謂ふ限りでないが兎もこれだけの事は云へるやうだ、即ち現代の民族的創意を認識するところなく大衆に生きた實相を說く信念を缺き肝心の「如何に生くべきか」の問題になつて來ると、百年一日の如く阿難や迦葉が飛び出して來るばかりで、現代人の求めてゐるものとは凡そ緣の遠いものである、宗教も時代と共に進步すべきものでなければならぬ何時もきまり切つた南無阿彌陀佛で大衆の精神を摑まうとしてゐる等は無意味に等しい、佛家は「精進」とはその業に專念して魂を入れる、本業と自己と一枚になるところに三昧があり、他に向つて自己を棄つるにあらず本業に專念することによつてその道の飛躍的進境を得る」と說くが、其の精神を行ずる眞實の僧侶が果して何人あるだらう、端的に謂へば、人が死んだら形式の讀經をする、彼岸になつたら布施を蒐めると云ふ以外に「如何に生くべきか」のポイントを與へてゐることがあるだらうか、善男善女、愚夫愚婦の淨財、不淨財を集め徒らに堂宇の廣大を誇るのは未だ嘗てインチキ宗敎なるものが横行して世相を害した事實は、結局大衆が在來の佛教にあきたらざるところに一因ある樣に思はれる利慾角逐、道義頽廢、世相は日一日と險惡ならんとして大衆は「如何に生くべきか」に悶へてゐる時、佛家自體が世相と並行し、物質にのみ趨るのは淺間しき限りでないか嘗て佛教復興が絶叫せられ、多數の凡庸僧に佛教本來の精神を領得せしむべき意圖の下に働きかけ、一時的にせよ成効と見られたことがあつたが多數の凡庸僧は反つて此の努力と成功を嫉視したことゝ同時に折角の精銳分子が不知不識の間に少數の智識層の心意に投ずるようにその宣說のレヴエルを引き上げて行つたことのために復興が幻滅になつたことがある、斯くして佛教は時代にとり殘され、百年一日の南無阿彌陀佛でお茶を濁してゐる、一體これでよいのか、眼を開いて世界を視よ世界を視ることがマブしかつたら、遠し當り手近いところで滿洲國を視よ爲政者の力によつて治安は確立せられ、三千萬滿洲人は生活的に安定を得て、今や心の糧を得んと傾つてゐる時代だ、折角滿洲迄乘り出しながら、對照は吾々日本人相手の葬式と讀經だけでは心細い、ナザレのキリストを視よ、マホメツトのコーランを視よ、それが見へなかつたら紙子五十年の祖師の姿を見よ三度首の座に直つた日蓮を視よ、彼等の信念、彼等の三度迫力、そうしたものか、現代の僧侶にあるか自ら百貨店に自ら街頭に、その他隨所隨時見聞するところに創意的の、ポイントがある筈だ、烈々の大信念を抱いて三千萬滿人に如何に生くべきかを教へることは刻下の火急務だ、箏者寡聞にしてまだ斯くの如き信念僧侶を知らないか、此れだけの大勇猛心がなければ、滿洲に居ることは宗教的に何等の意味もないわけだ、堂宇、加藍の如きは抑も未の未だ、墨染の衣姿を街頭に現はして大獅子吼をする位の信念僧かせめて一人でもないものか（釋迦の末孫）

滿拓來年度豫算
一億二千萬圓程度
青年義勇軍を擴充

滿洲拓植公社の明年度豫算については同社首腦部の豫算會議において大體案を決定、日下拓植委員會の再検討に移り稻垣局長は右案を携行東上、當局との間に折衝をつゞけてゐるが、支那大陸における長期建設と相俟つて滿蒙地區の

開拓　事業は一層拍車をかけるべく要請される情勢にあり、昨年度事業豫算六千萬圓を以てしては到底その目的達成は期せられず一億二千萬圓見當の豫算は必至と見られてゐるしかして右金額の調達には政府補助金ならびに東京、大阪にて勸誘しつゝある寄附金を以てしては賄ひ得べくもなく當然第二回社債の發行も餘儀なくせしめられてゐるが、前回の社債發行については起債條件も一流債並であつた許りでなくプレミアムも少額乍らついたといふ有樣で社債發行に關しては懸念なしと見てゐるこの膨脹豫算の使途については當初の集團移民入植數が本年度において豫定量以下であつた分を補ふためと、本年より實施されたる、青少年

義勇　軍の編續大量入植費並にこれら義勇軍入植増加に伴ひ滿拓の機構を一部改正し訓練局としこれによる物件、人件費の増加を賄ふ經費等が從來の諸部門費以外に組まれるものである、この訓練課の機構擴大についても目下委員會において協議研究中であるが、更に大量の青少年教育を目標とする教育課の如きものゝ新設も必然と見られる、なほ現地側にあつては現在の訓練所を改正し嫩江、寧安、鐵驪、勃利、孫吳の五訓練所のほか新たに敦化、一面坡の二ヶ所を加へてこれを大訓練所とし更に小訓練所を全滿に十數ヶ所新設し青少年義勇軍の養成期間を前者二年、後者一年計三年にすることも計畫されてゐる

哈爾濱航聯扱
開江中の貨物

開江より十月末日現在に至る航聯哈爾濱發着貨物數量は發送九六、九四五瓲、到着四八一、四九六瓲、合計五七八、四四一瓲で前年同期の六二一、六二三瓲に比し四三、一八二瓲の減少を示してゐるが、前年比石炭の約七萬瓲、木材の約五萬瓲の揚貨増と共に佳木斯揚大豆約八萬瓲を筆頭とする中間輸送諸貨物の激増は總體的に見て本年度の同局取扱總數の上に相當量の増加となつてゐる發着別内譯左の通り（單位瓲）

發送	
穀類	一六、九四八
木材	三、五〇六
鮮貨	四、七五三
雜貨その他	七一、七三八
合計	九六、九四五
前年同期	九六、六三六
比較	（＋）三〇九
到着	
穀類	一三一、〇六八
石炭	二三九、三七九
木材	八八、七二三
雜貨その他	二二、三二六
合計	四八一、四九六
前年同期	五二四、九八七
比較	（－）四三、四九一

なほ最近の暖氣と増水に基く封江異變に因り同局本筋航路は當分配船を續行されるがこの營業日程の延長に因り十一月以降終航迄哈爾濱揚下流地方の主要貨物は木材約一三、五〇〇瓲、石炭一二、〇〇〇瓲、穀類一三、〇〇〇瓲が見込まれてゐる

大連埠頭の滯貨一掃對策
陸揚げ一ヶ月の餘裕

大連埠頭に於る未引取貨物は現在なほ廿五萬瓲に上り特産出廻りの最盛期を目前に控へ憂ふべき現狀にあるので滿鐵では愈々滯貨一掃の最後處置をとることになり十一月一日以降當分の間大連埠頭に於ける陸揚げ貨物にして陸揚後一ヶ月を經過するも引取なきものにして會社に於て保管場所に餘裕なく埠頭構內作業上必要ありと認めたる時は何時にても荷主の危險および費用を以て貨物保管の變更その他の處置をなすことあるべき旨三日附社報を以て發表、更に荷主に對しては兩三日中に鐵道總局長名を以て右の旨嚴重通告することになつた、なほ埠頭における寄託貨物の保管期間も十二月一日以降當分の間會社倉庫營業規則第卅八條の規定に拘らず受託の日より起算し四ヶ月以內とし期間延長の要求ある時は會社に於て保管上支障なしと認むるかぎりこれが請求に應ずる

滿洲鑛發改組擴充
十二月初旬實施
資本金一億五千萬圓

政府は五ヶ年計畫擴大化に伴ふ鑛產資源の大々的開發を促進する爲め豫てより滿洲鑛發の組織並に業務內容の改組擴充につき研究中のところ最近改組要綱を決定し近く國務院會議並に參議府に諮つた上十二月初めには實施するものと見られる

一、從來同社は單に勅令廿號に基く廿三種の國防鑛物に對する鑛業權の散逸防止をその主要業務としてゐたが今回の改組により右業務のほか鑛產資源實地踏査並に地質調査を積極的に行はしむ

一、これがため資本金を一億五千萬圓に增資す（增資分は全額政府出資）

一、國內探鑛業務を活潑ならしめるため中小鑛產會社に對する金融並に投資を行はしむ

一、從來の鑛業出願手續は國防鑛物の發見については先づ鑛發會社に申し出でゝその他の鑛物については鑛山監督者署に直接出願せしめてゐたのを改正して今後の申し出で及び出願は一切鑛發會社を通じて一元的に行はしむ

一、舊吉、黑兩省に於ける金鑛發見については從來滿洲採金會社へ申し出でること になつてゐたが今後はこれを鑛發會社に申し出でることゝし鑛發會社は滿洲採金會社のために鑛業權の設定をなす

棉花統制
制度改正
來月中に實施

產業部では既報の如く棉花統制制度改正に就き研究中のところ最近成案を得たので近く國務院會議に諮り來月中には實施に至る豫定である

一、棉花統制法の罰則規定は農民に對しいさゝか酷なる點あるに鑑み右條文を權力的懲罰ではなく、道義的懲罰となす趣旨に改む

一、棉花增產五ヶ年計畫に對應するため棉花公司を改組擴充し現在の資本金二百萬圓を一千萬圓に增資（增資分は政府並に農事合作社の折半出資）すると共に來年度より棉花の收買價格を引上げ收買設備の改善を行ふなほ同公司の名稱を改稱する（未定）

一、これに伴ひ同公司の副理事長一名を增員す

錦ヶ丘高女生
母國修學旅行記
第三信（1）　半田瑠璃

▲十月二十三日　大阪道頓堀近くの繁華街に身を安めて、朝五時に起床。今日は母國の旅の中一番忙しい日である。宿を六時半に出發して、靜かな大阪の町を味つて、宇治山田の電車に乘り込む。驛一杯に非常時色が表はれ、頭には勤勞奉仕と標した手拭を凛々しく結んで、〇〇縣と大きく書いた旗を先頭に、作業服を身に付けて行く。電車にはおぢさんおばさん達が、胸に奉仕のマークを入れて、一杯乘り込んで居る。年寄もゐる、若い人もゐる、作業服を着用した姿はハリキツてゐる。參宮電車は黃色く波立つ田の間をひた走りに走る。沿線は南に紀伊山脈を控へ、笠置、鈴鹿二山脈と、幾つかのトンネルで横斷して居るので可なり深山の境地を味ふことが出來た。狹い所にまでだん〳〵を作つて、植えてゐる、田などもも面白い。日本の面積の小さいのも覗はれる。伊勢平野を出て松阪の驛につくと、かの本居宣長が愛住して居た、鈴屋を思ひ出し、間もなく、二時間の車中を終へて山田驛についた。これから神宮參拜に出かける。伊勢參宮と云へば、日本國民が等しく、これにあこがれ一生一度はお參りせねばならぬと云ふ事は、昔から今まで私達の常々耳にしてゐる所である。今その一生一度のお參りをするのかと思ふと感慨無量である。

眞白い淸らかな濕りを帶びた小砂利の敷きつめられてある參道を進み行く。兩側の樹木は醫蒼と繁り合つて居る。歩み行くサク〳〵と云ふ音にもう誰もお話する人はない。皆もうすつかり淸められた氣持になつてゐる。小暗い木立の蔭に白い美しい神雞が、五六羽戲れてゐるのも神々しさを增す。參道がつきて純日本風の天地神明造り、我々に衣食の道をお授け下さいました豐受大神宮樣。茅葺の正殿に額いて、先生の號令により拜敬禮、西行法師の

何事のおはしますかは知らねども
かたぢけなさに淚こぼるゝ。

とかつて讀んだ、その儘の氣持で、只かたぢけなさに頭の下るのを覺えました。外宮參拜を終へて、御殿の前の池で鯉の戲れてゐるのを見て、次は御內宮樣と步を向けました。

その途中田舍の小父さん小母さんが着物の裾をからげて、傘を持ち、バスケツトを持つた、所謂御伊勢さま參りを見ました。本當に日本人のいつに變らぬ敬神の念、敬けんな姿に心打たれました。內宮は外宮より大部道程がありました。神聖壯嚴なる雰圍氣に包まれた、神花內に入ると明治天皇の御製にもある、五十鈴川

むかしより流れ絕えせぬ五十鈴川
なほ萬代も住まんとぞ思ふ。

五十鈴の水が淸く上古の昔を秘めて流れ、川岸の白い小砂利にも、神聖な感じが致します。宇治橋を渡り其所で、暫く說明を伺ひ第一の鳥居を過ぎ、第二の鳥居をくぐり底まで澄みきつた、五十鈴の淸水に口を漱ぎ手を淸め心を淸めて、外宮にも增した、敬けんな心持で參拜しました。左の御垣內で御說明を伺ひ建國の歷史を知ると共に、御神勅をよく認識して日本人たる自覺を持ちました。參道の濕りを踏んで、御境內の第一別宮天照大神の荒御魂の御前に額づいて、武運長久をお祈り致しました。これで我が皇室の宗廟として國民の尊崇の中心たる、伊勢神宮にお參りして、一生一代の務めをすませ淸いすが〳〵しい明るい氣持で、境內を出て又電車につみ込まれて山田へ向ひました。

商況欄　四日後場

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	—	—
豆木	—	—
土新	—	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	—	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
滿業	[illegible]	—
同新	—	—
日產	[illegible]	—
五品	—	—
同鐵	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
同紡	[illegible]	—
電甲	[illegible]	—
日乙	—	—
同電	—	—
日鄧	—	—
新業	—	—
化學	—	—

新京取引市況

	寄	引	出來高
●大豆 先物 十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	—	—	—
●高粱 九月限	—	—	—
十月限	—	—	—
十一月限	—	—	—

手形交換高（四日）

[illegible]枚　[illegible]

家庭

なぜ知識階級ほど出産率が尠いか

實りの秋は結婚の花の咲き亂れるシーズンでもあります。結婚といふものは、若い人が考へるやうに二人さへ幸福であればよいのではなく、國家や民族の繁榮までを考へて行はれねばなりません實際國家や民族の繁榮あつてこそ初めて當事者たちの眞の幸福もあるのであつて、國衰れ民族衰へて平和な家庭生活がありうるでせうか若い二人の結婚こそ國家、民族の發展の基礎となるものですから、結婚の選擇は國家的見地にたつて飽くまで愼重に行はれるべきであります

結婚上の大問題

あらゆる民族に共通する悩みは、代を經るにつれ民族の素質が低下するといふことですその原因として、社會の中堅をなす知識階級の出産率低下と、そしてその反對に素質の劣る階級の出産率の増加とがあげられます。卑近な例として東京市における教育程度による出産率を比べてみても「教育程度」の高い夫婦ほど、子供を生むことが少いのです。即ち。東京市では一組の夫婦は平均四・七四人の子供を儲けてゐますが、これを夫の教育程度によつて分けてみると、無學者は五・二六人、初等教育をうけたものは四・八七人、中等教育をうけたものは四・五五人、高等教育をうけたものは四・四一人といふ風に、教育程度の高いもの程子供の數は少くなつてゐます、この聖代に無學者といへば、素質が劣つてゐるものとみてよく、素質の悪いもの丶間に逞しく出産率がふえるのは、民族全體として、雜草がはびこるやうなもので憂ふべきであります、つまり素質の悪い階級の増産を防止し「知識階級」の出産を増加させることが、民族の繁榮のために必要です。茲に結婚に際して十分の選擇が必要となるワケで、現在殆どあらゆる國々で優生結婚法を設け精神病、低能、悪い花柳病のあるもの等の結婚を制限し、または禁止してゐるのもこの理由によります、またお互に健康診斷書の交換を命じたり斷種法によつて悪い遺傳病者の斷種を行つたりしてゐますわが國ではまだ優生結婚法は設けられてゐませんが結婚に際しては正にこの精神をもつて、十分の選擇が行はるべきで、即ち遺傳性の缺陥のある家系との結婚は、避くべきであります、家系の調査は「昔から」わが國で相當に行はれてゐますが、しかしそれは結核とか癩のことばかり注意されてゐるやうです、結核は遺傳病でもなく、これを防止することも容易ですから、何も恐れ避ける必要はありません、また一般に恐れられてゐる精神病にも、遺傳するものとさうでないものとあり結婚を避けねばならぬのは遺傳性のもので、その他低能（三分の二は遺傳する）アルコール中毒者の家系等でありますが、このためにはやはり健康診斷書の交換を行ふのが安全であり、賢明なわけです。「父親より」母親によつてヨリ多く子供に遺傳されるもので、この點女性は誇りをもつてよく、また男は「顔」で配偶者を選ぶべきではありません、更に子供は四人以上を生むことが、人口の増加や民族の繁榮のために必要で二人では人口の減少を來します

仲秋漫談　紅葉狩

□……林間紅葉を焚いて、酒を溫むといふ秋の風流は春の花にもました味ひが深いと云はれる。春がよいか、秋がよいかといふ議論は、昔からあつたと見えて、例の額田王の長歌にも『…秋山の木の葉を見ては、紅葉をば取りてぞ思ふ、青きをばおきてぞ歎く、そこしうらめし秋山われは』とあるやうに秋をよしとして花よりも紅葉の美をたたへた詩人は世世にたへない。然し秋の紅葉はその環境からして寂しく、冷たく、物悲しくまた、人の心をひきしめる同じ萬葉の歌にも

けさのあさけかりがねきき　つ春日山もみぢにけらし我心いたし

秋の紅葉と云へば、酒を酌んでも樂しく醉ふことは出來ない。深く思ひ、心をひそめて自然の中に自分を忘れる。のむほどに、醉ふほどに心が醒めて來るのが秋の酒だ。

□……まして、もののあはれを慕ひ、さてはわび、さびしをりをこととした後世の歌人、俳人は春よりも秋をよしとして、秋のあはれを詠んだ歌や句はことに多い、そして秋の自然といへば、菊紅葉につきる。紅葉狩りといふと例の九代目團十郎と先代菊五郎の當り狂言の『紅葉狩』を思ひ出す。これは平維茂といふ武將が紅葉狩りに出かけて、思ひがけぬ美人に出會ひ紅葉の精のやうな美しさに見とれてゐるうちに酒に醉ひつぶされて睡る、其美人は實は山に棲む鬼女で、正體を現して維茂をねらふ。折りとつた紅葉の枝をふるふ鬼女と護身の名劍でこれをあしらふ武將との立廻りは、一幅の活きた錦繪だ。

□……うつら〳〵と菜の花畑の中を戀に狂つて迷ひ出る『保名物狂ひ』に比べてこの紅葉狩りの悽婉な趣きは、代表的な秋の狂言と云つてよい。どうも紅葉狩りと云ふと、この日天氣晴朗、一瓢を携へて杖を郊外にひく、といふ老人向きの遊びで、いまの青年男女には『颯爽とハイキング』で、モダンな輕裝で口笛の一つも吹いて歩かないとその趣きがうつらなくなつた。これも時勢は移るで、同じものも名が變り意味が變るのは已むを得ない。

結髪　外國でも凝る　御婦人の髪型

最近は歐洲でも米國でも髪型に凝るご婦人は、毛を頭のテッペンにたばねあげるのが〜流行〜となつてゐますがこれこそ日本婦人の特徴であるもつとも美しい襟あしを、發揮する髪ではないでせうか。で、それを生かしたこの髪は、むかしの夜會巻きにヒントを得たものですが、その粹向きとか中年ごのみなどをさけて、まげの型も固定せず、若さや動きをつけて現代風にまとめました。毛は縮れてゐるなら、伸ばさずにそのまゝ扱つた方が若さがあつてよろしいし、堅く眞直ぐならば巻かない部分に、無造作に鏝で波をつければやはらかさが出ます

〜結ひ〜方は上下に毛をわけてしまひ、上の毛の中央二寸幅位のこして、左右をわけてとります。この中央の毛を、幾つでも適當にわけ、一つゞつを毛ピンにはさんで、クル〳〵毛先きからまいて、毛ピンで目立たぬやうにとめます。中央ができたら、左右を上へとかしあげて同様にまきます。そして下の毛を左右にわけ、交叉させて、これもクル〳〵まいてとめればでき上ります、飾りとしては、昔はやつて鏡臺の底にしまひ込んであるベッコーやサンゴなどの大まかな飾りピンがふさはしく思はれます

素人はかうして お選び下さい　メリヤス買方案内

いよ〳〵冬物の時節になりますが、さてメリヤス純毛等のシャツ、靴下類の買ひ方。秘訣は？　一體にメリヤス類の素人鑑別法としては、生地の目がキレイに揃つて細かく編んであるものを上物とします そして手觸りは軟かく表面毛バ立つて居らぬものをお選びになる事です。

【純】毛の方は、一般に軟かな向を喜ばれるやうですが、耐久力の點から申せば幾分固めのものの方がいゝのです、それから彈力の點では、生地を引つ張つて見て、目のすかない程度のものをお求めになること、以上のことを念頭において、更にこれを專門的に述べますと普通メリヤス類は一吋に對する糸の數は十四本張りで之がシャツ一枚になりますと、重さが八十匁が標準ですから、必ずこの重さを標準として品の良否を御見分け下さい、八十匁以下のものは粗悪品と見て間違ひありません。

【そ】してシャツの下部のゴム織ともスソゴムとも云ふあそこを引張つて見て彈力の強いものをお選び下さい、次は靴下です、一般市中には隨分インチキなものがありますが、この靴下の長さは、原則としてロゴムの部分が五吋、ボデーが七吋、カカトが九吋半が普通です、併しこれは合ものの事で、冬物になるとボデーの部は一吋より八吋です、つまりカカトを除いた長さが合ひ物は十二吋、冬物は十三吋と云ふことになります、そして重さの標準は合ひ物の方は一枚が十匁程度冬物の方は十三匁から十四匁程度ですから

【お】求めの際はシャツ同様此の重さを標準にして鑑別すれば決して間違ひがありません、で一般にサイズについて無關心の方が多いやうですが、お求めの際は御自分のコブシを握つて見て、靴下のカカトの部をそこに廻してキッチリと合ふのでこれが常法です。

【尚】ス・フ入のものは廿パーセント迄では大した影響もありませんが四十パーセントとなると持つてみても濡れたものゝやうにダラリと重く下りフンワリした感觸がありません。特有の光澤があり編み目を引張つてみても彈力性がなく、伸びつきりの感じです。仕立は第一ボタンのはまる部分をみるのですが、上下がくひ違つてぴつたり合はないものは全體にぞんさいな仕立といへませう二つ折りにして左右の丈の違ふものなども悪いものです

靴や鞄の新らしい革

また革の新しい代用品があらはれました。北の海でおいしい鮭や鱒をとつて喰べる海のいたづらもの胡獱はまたおとなしい膃肭獸にも大變邪魔をするので、大正の初めから約七年の間、いたづらをしないやうに北の海から追ひだしたこともあるのですが、この頃になつてまたふえて、相變らずいたづらばかりしてをります。長さは三メートルから四メートルもある、水泳ぎのうまい大きな動物で、小さな島に集まつて棲んでゐますが、樺太付近から千島列島に多く寒いところが好きな獸です。戰爭で牛や馬の皮がなくなつても困らぬやうに代用をする皮として鮫や鯨と同じやうに皆様の靴や鞄にこのいたづらものゝトドがつかはれるのも近いことでせう。

健康相談　月經の來潮なく心配

（問）年頃の女、未だ月經がなく心配してゐます、無月經から生じる疾患はどうでしやうか教へて下さい（廿才女）

（答）婦人にして生來無月經なる場合の疾患として、子宮が先天的に缺如せる場合、高度の子宮發育不全症、先天的に兩側卵巢を缺如せる場合、子宮は健常なるも月經血の通過路なる膣の缺如又は處女膜の閉鎖等でありますが貴女の場合も上述の何れかの疾患でせう夫以上のことは診察しなければ確答は出來ません、尚毎日一定時に腰痛、下腹部痛のあることより推察すれば或は子宮卵巢は健康にして膣、處女膜閉鎖のため月經血が子宮腔に蓄積して疼痛を招來せるものとも想像されます兎角貴女の現在の状態では一應診察にお出なさい必ず其の原因は確診されるでせう（回答者新京特別市中央通保健所産婦人科部長醫學博士　成松清品）

オカジヲモラツテキタヨ
ドウシタノ
ダイフクガノドヘツカヘテクルシイツ
ヒヨツトコ
オハヨウ
ヒヨツトコ
ヤツアウムガヒヨツトコナンテイツタゾキミガオシヘタナ
キミガイマヒヨツトコミタイナカホヲシタカラサウイツタンダラウ

けふの番組

新京放送局（MTCY）五日　土曜日

朝

七、〇〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、二〇ニュース
七、二五中等滿洲語講座（大連）幸勉
七、五〇朝の音樂（大連）
八、二〇氣象通報
八、五〇建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）

晝

一〇、〇〇家庭講座（哈爾濱）冬のお化粧　田村乍枝
一〇、二五料理獻立（哈爾濱）
一〇、三五家庭メモ（哈爾濱）
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇一晝の演藝（奉天）
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況
四、〇〇ニュース（東京）氣象通報・ニュース（新京）
四、四〇經濟市況

夜

五、二〇ニュース（鮮語）
五、三〇演藝（奉天）
六、〇〇子供の時間（大阪）童話劇 僕等は小國民 劇團ドウゲキ
六、二〇コドモの新聞（大連）
六、二五趣味講演（奉天）康熙帝の話　衛藤利夫
七、〇〇ニュース（東京）
七、一五前線より
引續きニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇國民歌謡（東京）新鐵道唱歌 北陸線 直江津～金澤　指揮 杉山長谷雄　合唱 鐵道省混聲合唱團　伴奏 東京放送管絃樂團
七、四〇講演（東京）
八、〇〇獨唱（東京）李香蘭
一、滿洲の歌 編曲並指揮 栗原重一　伴奏 東京放送管絃樂團
二、日本の歌（イ）夜來香（ロ）何日君再來
三、滿洲の歌（イ）愛國行進曲（ロ）愛國の花（ハ）心の子守唄
四、我的心影兒（イ）五芳齋（ロ）漁家春夢（ハ）ユーロラドの月
八、三〇浪花節（東京）土と兵隊（中）木村忠衛
九、〇〇連續ラヂオ小説（東京）火野葦平・作　徳川夢聲
九、三九時報、ニュース、ニュース解説（東京）
一〇、三〇ニュース再放送
氣象通報、番組豫告、ニュース、告知事項（新京）
一〇、四〇北滿の時間（哈爾濱）
アナウンサー小澤（晝）荒井 田中（夜）

學藝

滿洲人物會見清談 (三)

吉田直志

滿洲の史學者

今一度扨てを繰返へさせて貰ふ。筆者は色々な人物と會つた。そして在滿短日の間に可成りの人々とも會つた。處でいま兩者の寸言的比較をするならば、この兩者はとても問題にならぬ。内地でのそれが「天上から針の穴をみる」であるならば、但しこれは多くの場合は大きい意味にとられる。滿洲でのそれはどうかといへば「針の穴から天上を覗く」である。この言葉は小さいといふ意味に使はれる。果してそれはほんとなのか、恐らくこれは筆者の不見識不勉強からと思ふ。けれど筆者の聞いた範圍によれば「滿洲の人々はスケールが小さい。たゞのんびりはしてゐる」だと。それはほんとか、それも筆者としては何ともいはれない。そしてそれらが何に原因するのかも。たゞ一言はいひ得る。現在の滿洲は實業家と官吏の生活する處だと。これはよいことか悪いことか、とりやうによつては何れともなるだらう。

滿洲の人物はどうかに對して即座に發し得る言葉は「今の處ではいひたくない」たゞそれだ。「少々的行」でありそれだ。「君のやうに色んな人物に會うた者のいふことは、いくらか參考にもなるから」となれば、先づ其範圍に於て新らしい處から古きへ及ぼす。

奉天での人物といへば圖書館長衞藤利夫氏がある。この人は學生時代は大川周明博士と竹馬の友であり、學窓を出たのち關東州邊で一緒に仕事をしたとかせぬとか。人物の器量の點からいへば大川さんと親交があつただけ大川さんと同じ位るとみたは僻目か。奥丹ではなかつた緯轄の歴史に明るく、何でも歴史學に於ては滿洲では現在建國大學とかの稻葉博士達と共に寥々たる滿洲史學界の泰斗であるさうだ。「皇軍一度び起ちなばー」とは何かキネマの看板でみたやうに思ふが、それを衞藤さんにかりれば「衞藤もし一度び史學に口を開かんか——」滔々懸河の勢をなし或は悲憤慷慨し、或は天上天下唯我獨尊、轅上人なく轅下馬なしは廣大し、口は耳まで裂け、口角は蟹の泡をつくり——まことに以て恐縮な形容だが、ともかく志士的史學者とでもいふべきか。この氣魄にたては全滿唯一といふべきかもしれぬ。史學のとをいつたついでに若い方面でいへば、今度新たに奉天博物館から建國大學助教授に赴任した高橋匡四郎君など、寥々たる斯界に嘱望に足る人物であらう。學的に將その器量の點から衞藤氏の後繼者として恥しくない處が衞藤氏をリファインしたものともいへやう。

日日狂歌

无志幾

漢口一番乘

漢口の一番乘は柳田と聞くも宜なり川のめぐれば。

南支攻略

南支那領(ト)つたも道理古莊々々と智慧鹽澤と虎門(コモ)々々に謀る。

春風 (亖)

張天翼作　大藤魏譯

何時の間にか一匹の蜜蜂が飛び込んで來てゐた、空中で宙返りをやつてゐた、何度も硝子窓にぶつゝかつて又歸つて來た、ウオンウオンウオンウオンといふその音が憂欝で單調だつた。

「うゝん、たまらん、やりきれん！」

邱老師は顔に皺を寄せた。やがて彼は右手で左手の脈を見た。彼は全身をだらりとさせて、あたかも人と爭でもやつたかのやうな疲れを感じてゐた。しかし氣持はまだ落ち着かなかつた。頭ではやはり考へ續けてゐた、そして一層心配になつて來た、まさか一生を此處で埋もれてしまふわけでもあるまい、どうだらう？

あの同僚たち——あれらはこんな生活でいゝのだ。あいつらは何ともいへぬ妙な奴らばかりだ。あいつらはこゝの小ルンペンどもの相手をするのに丁度いゝ。そこで彼は又溜息をついた。そしてあの三分の一の生徒は全く可哀さうだと考へた。

彼は新聞を押しやつた、一枚下に落ちたが拾ひもしなかつた、手で胸を撫でた、呼吸をととのへた、彼は自分で自分にこれからはあまり怒らんやうにしやうと言ひ聞かせた三十二圓で自分の健康を犠牲にする——そりや餘りに割に合はんことだ。

しかし——しかし、あゝ人類の天性は何としても美しいものを好み醜を惡むものだ

彼は庭に出て開き戸をあけた、眼は蜜蜂に釘付けになつてゐた、一方肚の中では字句の推敲をやつてゐた、今先刻三つの點に分けて説明したあの事である、それを今度は自分の方に推して來た、絶對に小ルンペンどもと騒いだりしてはならんのだ、彼は天性下層社會の人間を好まなかつた、そして仇のやうに憎んでゐた

耳許で又ウオンウオンと響が起つて來た、その蜂は飛び出しもしなかつた。

それが自分の方に來てはたまらんといふ風に、彼はサッと戸を出た。彼は一度呼吸をした、そして肚の中に溜つてゐる考へを丁老師に對して話さうと思つた。

しかしそれは無駄だつた、外の者は授業に出てゐるのだつた。

「ふうん、好し悪しも判らん奴め！」

一體この三十分をどう利用したらいゝか判らなかつた彼は庭に出たのだが、又這入つて來た。最後に彼は日向ぼつこをしやうと考へた。彼は太陽には七つの好い點があることを思つた、一は紫外線、二は殺菌……

彼は校長の　老師の部屋に物音がするのを聞いた。それから　老師が女のやうな聲で言ふのを聞いた。

「小使…小使…」

この日向ぼつこをしてゐた老師はどろりとそちらに眼をやつた。うゝん、好い校長だ——今頃やつと起きて來る！

力作と瑕瑾

—横田文子「白日の書」(『滿洲浪漫』I)—

これはまさに力作の名に値ひする。「死ね」「生きる」「殺す」三部より成る構成の仕方も仲々骨格があつて巧みである。このやうな題材に、このやうな描き方はまさに好適してゐたであらう。一人の自活する女。或る女と同性愛に陥るが、それを清算しやうとして悩む、自殺をしやうとして未遂に終つたりする。長い深い苦悶。

だが、結末の部分はどうもあつけない。相當に描寫に努力してあることはわかるのだが、うなづき難いのである。さらに一考あつてはいかがであらうと思はれる。

兎も角、これは作者が近頃示したもののうちで最も力の入つてゐる作品であつた。ただ瑕瑾はやはり瑕瑾である。前半がひかつてゐるだけに、結末のたあいなさがみじめなのである。

(御垣衞士)

新京名所
料亭街
新築開店
大経路東寄り
一福
電(2)三七八七
御料理
電(2)五七八八
丸吉
巴カ弥
つぼみ
春香
玉子
京子
あけみ
香月
月見
藤子
仲居同
電(2)三八〇五
御料理
きみのや
電(2)一五三二
新京
電(2)二八一九
料亭
電(2)四七八八
電(2)一七四四
何卒よろしく
大経路東寄り

天皇陛下 帝國博物館に行幸

【東京國通】昭和御大典を奉祝記念申上げて工費三千七百萬圓をもつて、二階建鐵骨鐵筋コンクリート二萬一千五百六十七平方米、日本風の豪華な美術の殿堂として上野に起工した帝國博物館は六ヶ年を閲して昨秋竣工と同時に獻納し奉つたが、同館ではわが美術界に一新紀元を劃して愈々來る十五日から一般に公開する運びとなり、畏くも天皇陛下には官民擧げて獻納し奉つた赤誠を嘉せられ開館に先だつて來る十日、昭和三年十一月十日即位の大典を擧げさせられてから丁度十周年を御記念申上ぐべき佳辰を卜されて親しく行幸、東洋一を誇る同館ならびに輝かしい歴史を物語る陳列品等を天覽あらせられると承る

白衣の勇士に 新宿御苑御拜觀を差許さる

【東京國通】白衣の勇士の身の上に深き叡慮を垂れさせ給ふ畏き邊りにおかせられては今春菖蒲咲く新宿御苑拜觀を差し許されたが、更に五日から十一日まで第一、第二兩陸軍病院、軍醫學校に療養中の勇士に對し菊花薫る新宿御苑の拜觀を差許される旨御沙汰があつた、また外出出來ない勇士等に對しては御苑の菊花數十鉢を賜つてお慰めあらせらるゝ由に承る

呂產業部大臣 拜謁仰付らる

【東京國通】三日夜入京した滿洲國產業部大臣呂榮寰氏は阮大使に同伴され四日午前十時半宮中に參內、鳳凰間において天皇陛下に拜謁、有難き御言葉に恐懼感激して御前を退下した

八侯百科辭典を 參謀總長宮殿下に獻上

【東京國通】訪日ファシスト親善使節團長パウリッチ侯が曩に來朝の際皇軍の各方面から受けた好意に感激、今後益々兩國親善に盡したいとファシスト黨編纂になる最も重要な作品の一つであるツレッカーニ百科辭典(三十五册)を閑院參謀總長宮殿下に獻上して來たので、訪日イタリー武官スカリーゼ中佐はイタリーの休戰記念日たる四日午前參謀本部を來訪、總長宮殿下に謁を賜はつて同書を捧呈した殿下には殊のほかお喜びあらせられ左のやうなお言葉を賜はり御嘉納あらせられた

日伊兩國はその防共精神に則り軍事方面のみならず將來各種の部門に亘り廣く相互の理解を深め一層親善の度を强加することが必要と思ひます、この時に當り貴國の百科辭典の贈呈を得ましたことは眞に意義深きものがあると信じます、宜しくパウリッチ侯閣下に余の對意を傳達されんことを依頼します

見よ、長期戰の備へ 新興軍需資材展

民間生產部門に呼掛けて 六日から寶山百貨店開催

廣東につぐ武漢三鎭の確保により支那事變は愈よ本格的長期戰に入るとともに對ソ作戰に備へて各種兵器の製作は益々その重要性を增し各種工業關係者は全能力を發揮して軍需資材の生產に參劃し、殊に事變後最近に於ける代用、新規格品の發明と發見は全陸軍の研讃と相俟つてぞく／＼として實用化されてゐるが、五ヶ年計畫の遂行に躍進を續けてゐる滿洲國に於て民間の代用軍需品製作を緊要とするので、日刊工業新聞社、滿洲新聞社、大同報社及び本社の共同主催、陸軍省出品、關東軍後援のもとにこれ等新興軍需資材を六日より四日間に亘り寶山百貨店に陳列し新興軍需資材展覽會を開催することになつた、出品表は

陸軍省技術本部、同兵器本廠、同造兵廠、同糧秣本廠、同被服本廠、同航空本部、その他民間新興軍需資材メーカーで金屬代用品、ゴム皮革代用品、纖維代用品千二百餘點を出品し民間に於ける代用需品製材の推進力たらしめんとするもので業者及び一般に多大の貢獻をなすものと期待されてゐる【寫眞は出品の一部】

ボーナス公債支給 一般會社も右へ準へ 協和會から提唱

昨年滿洲國政府は百圓以上の賞與を受ける官吏にその何割かを公債でもつて支給し國內產業開發資金その他の重要基金にあてたが、協和會でも政府同樣自發的に本年度より全職員に百圓以上の賞與に對しては何割かを公債で支給し國策資金として動員せしめ先づ身をもつて範を示すことゝなつた、この賞與公債支給運動は他の會社方面にも働きかけ、ボーナスの何割かは必然的に國策資金として動員され、產業五ヶ年計畫にその他の遂急を要すべき國家的事業に利用すべく目下種々研究されてゐるが、協和會の新生活運動として本年度より年末年始の虛禮を一切廢止する運動と共に新らしい緊張せる時代の空氣を反映せしめてゐる

大きな錠より 隣同志の連絡

盜難防止 重ねて注告

首都警察廳司法科では結氷期としのびよる年末を控へて發生する諸犯罪に備へ曩に總監の指令に基き管下各署に遊動班、潛伏班等を設置警備力一段と强化し、さらに犯人の潛伏には恰好の地と目されてゐる分駐所管內所謂國都郊外の部落に就て過般來一齊戶口調查を實施不良徒輩の摘發檢擧と防犯の完璧を期し大童の活動中であるが、最近市內に於ては當局しば／＼の警告にも拘らず各家庭の不注意に原因する盜難事件依然としてその跡をたゝず時には一日十件餘にも及ぶと言ふ芳ばしからぬ實情にあり、これについて島貫搜査股長は左の如く語り市民の一層の戒心を要望した

最近の頻出する盜難事件は玄關荒し等各家庭の戶締り不充分、不注意によるものが非常に多い、各家庭では外出に當つて南京錠を掛け「これで大丈夫」と安心してゐるやうであるが、南京錠を掛けるが如きは不在を證明するもので賊には絶好の機會となるものである、大きな南京錠よりも向ふ三軒兩隣りで隣家とよく連絡して相互に警戒することがより以上安全である、由來官舍街の如きは隣家同志が言葉一つも交はさないと言ふやうなことをしば／＼見受けるが防犯の見地から言つてもよくないことだ、また旅行のため永い間不在とするが如き場合は派出所にその旨一應申出て連絡しておいてもらひたい、尙馬車上の遺失品が最近殊に多いやうであるが、馬車に乘る際必ず番號をはつきり記憶しておくやう心掛けることは必要なことである、萬一の場合搜查非常に有利な條件のとなるものである

川崎克氏參內 花瓶を獻上

來京中の民政黨總務克堂川崎克氏は四日午前十一時三十分帝宮に參內、自作の力作伊賀燒擂座花入一壺と自著の隨筆「日本趣味を行く」「伊賀及び信樂」各一卷と本年五月大阪で開催した第二個展、作陶描畫展覽會の作品目錄を獻上それより皇帝陛下に觀見を賜はり伊賀燒に關する美術的沿革を御說明申上げて午前十一時五十分退下した

新京麻雀同業組合 第九回恤兵獻金 二十一圓餘を本社へ寄託

四日午後、新京麻雀同業組合から毎月恒例となつてゐる恤兵金三十一圓四十錢を第九回分として本社へ寄託して來たので、所定の獻金手續を執つた、これは同組合が去る二月の總會で申合せた、毎月朔日に打莊一卓毎に十錢を據出して今次事變のつづく限り獻金するもので三月から始め十一月が九回目に當る譯である、現在組合長はアルシーアル、アサヒ、綠一色、帝キネ、安樂莊、都、天風、三友、吳越、黎明、東一條、銀座、大三元、大和、祝の十五軒である

舊商議役職員 記念品代を 皇軍獻金

治外法權撤廢に依り昨年十二月解散した舊新京商工會議所では今回舊役員及び職員に對し記念品を贈與することゝなつたが、一同の意志に基きこれを皇軍慰問獻金として有效に使用することゝなり四日前會頭石崎廣治郎氏は關東軍司令部並に駐滿海軍部を訪問前者に千二百圓、後者に八百圓を獻金した

張總理、滿映 スタヂオへ

張國務總理は四日午後一時半神吉總務廳次長や于首都警察總監を從へて寬城子の滿映スタヂオを訪問、林常務の案內で所內の諸設備を視察、目下撮影中の田園春光に主演してゐる李鶴、杜撰の熱演振りを參觀、國策映畫製作に精進してゐるスタヂオマンのハリキリ振りに感心し乍ら午後二時辭廳した

新京に牛乳會社

衞生的て然も安價に提供 市で設立計畫進む

中央御賣市場の設立も漸く一段落となり新京市民のお臺所方面には仲々好評の新京特別市公署では今度は新鮮にして衞生的且安價な牛乳を市民に提供すべく全滿に率先して新京牛乳會社を設立すべく目下立案研究を進めてゐる、設立趣旨は衞生と安價の二つをねらつたもので首都警察廳でも衞生取締り上からみて大いに賛成を表明しており、これが實現の可能性は充分ある譯である、消毒工場その他全市に亘る配給設備等で資本金は約百萬圓程度のものとみられてゐるが、三宅、加藤、その他滿洲人等の牧場はこれが設立に依つて何等打擊を蒙ることなく牛乳會社への原料供給者として一定の利益が保證されるものとみられてゐる、設立後は計畫に依ると一合市價二三錢方安となる筈である

中銀鄕軍分會の 戰鬪教練

中銀では武漢三鎭攻略を機とし事變の第三段に入らんとするに當り、銃後行員の心身を鍛錬し鄕軍の本分を鄕軍分會主催のもとに發揚するため五日午後二時より南湖附近を中心に二百餘名の會員が東、西の兩軍に分れて攻防演習を行ふことゝなつたなほ戰鬪教練終了後田中總裁閱兵による分列行進を行ひ終つて天幕飯盒炊事の會食を行ふ豫定である

朝鮮協和青年團 自轉車競爭成績

朝鮮協和青年團の四十粁自轉車競爭は四十餘名の參加三日午後一時より盛大に決行され潑剌たる銃後青年の意氣を包はせ左の諸君が入賞した
一着李春華(工)一時間五八分、二着金仁煥(工)一時間五八分、三着金龍円(實)二時間四分、四着金在鶴(工)二時間九分、五着黃允奎(工)二時間一三分

日滿華書道展 榮ある受賞者決定

書道を通して日滿支三國の親善をはかる滿日華親善書道展覽會は、一日新京寶山百貨店に開催以來連日盛況を極め國都の書道愛好者が引きも切らず詰めかけてゐるが、四日午前十時より滿日文化協會で審查員川崎克堂、尾上柴舟、池上秀畝、田代秋鶴、大野百鍊、榮厚、沈瑞麟、寶熙の諸氏出席のもとに約八時間にわたつて千有餘點の出品物を審查し泰東書道院總裁東久邇宮賞をはじめ文部、遞信、拓務三大臣、國務總理、民生部大臣、總務長官、民生部次長の各賞、銀賞の榮えの受賞者を決定した審查を終つてホッと一息の民政黨總務克堂川崎克氏は左の如く語つた

滿洲側から寶熙、榮厚、沈瑞麟の三氏と日本側審查員全部出席し總て合議制でやりましたが、圖察の目標は古典的考證、筆蹟に現れてゐる作者の人格、教養、殊に重點を置いて型字を主んじなかつた點など日滿側全然意見が一致し眞に愉快に審查出來ました、今朝から八時間にわたつて受賞者の數は日滿支の順ですが出品點數と受賞者の比率は大體同じ位ですが嚴選主義でやりました、明日會場の方も今日選んだ受賞者を中心に陳列替へします

なほ榮冠を獲得した受賞者氏名は左の如くである

△大人の部＝泰東書道院總裁東久邇宮賞、浦山青雲(東京市神田區金澤町一)國務總理賞、原田九皐(神戶市灘町赤坂通)文部大臣賞、森田子龍(東京市澁谷區金王町三)遞信大臣賞、王允烈(新京圖書株式會社)拓務大臣賞、高石峯(東京市澁谷區代々木初臺六ノ一八)日滿華親善書道展會長賞、趙德懿(華北)民生部大臣賞、西山秋崖(東京市淺草區駒形二丁目)總務長官賞、首藤春草(新京常盤町二ノ一六)銀賞、秦裕(華北)張胡(華北)綠川幸則(東京市)彭宗堯(吉林)鈴木克巳(淸水市)田中育馬(福岡市)森田安次(靜岡市)

△少年の部＝泰東書道院總裁東久邇宮賞廣嶋弘一(青森市)文部大臣賞佐山和子(東京市)遞信大臣賞楊玉陞(天津)拓務大臣賞劉德全(奉天)國務總理賞李正中(吉林)民生部大臣賞白井良香(東京市)總務長官賞吉岡和子(新京)民生部次長賞藤井芳溪(東京市)

自動車運轉免許試驗合格者

首都警察廳保安科に於て去月施行した自動車運轉免許試驗合格者は左の通りである

△普通免許 根波俊孝、上野榮藏、李相烈、今村道遠、金武智、金處作、金龍得、徐淳達、林綵霙、吉岡和春、沈錫鳳、吉光文夫、鄭泰沂、徐千鐘、河合秀雄、西野精一、小玉善三郎、萩谷留吉、田代武雄、降旗盛、李正燦、李鍾文、李洛基、武田久雄、林炳植、金銀福、崔豐川、李鐘吉、岡田喜代詩、且本榮、楊雲閣、金河一、康應楠、金宗浩、玄時興、陳鴻達、李潤洙

△小型免許 富永敏一郎、李景鶴、閻正綱、金永根、金麟基、劉延德、木村作次郎、內藤信興、洪瑋杓、金永七、賈淸明、王秋來、陳玉昌、金政國、趙威儒、孟廣弼、梁鳳閣

エロ映畫を持廻り 機械商引致さる 料亭、割烹等で惡用か？

夜の國都に哈爾濱夜話にも似た風紀紊亂事件が首都警察廳に摘發された、最近市內でエロフヰルムを映寫風紀を紊しつゝあると聞き込んだ首都警察廳搜查股では時節柄もつてのほかとあつて、其本據を突きとめるべくかねて內偵中であつたが、圖らずも市內曙町三丁目機械商高田商會新京出張所に、問題のフイルムが隱匿されてゐることを探知した成松刑事は三日午後九時頃同商會に踏み込んで難なくフイルム一卷並映寫機一台を發見押收した、次いで四日午後同商會主任中浦好男(四六)を引致目下嚴重取調べ中であるが、フイルムは哈爾濱より入手したもので、市內一流の料亭、割烹等に於て映寫、客に觀賞せしめ、延いて客の吸收策の一手段に用ひられてゐたとも見られその手段方法追及と共にエロフイルム一卷を繞り事件は以外な方面に波及するではないかと頗る注目されてゐる

滿人ボーイ家出

大和通三機工業新京出張所給仕朴昌波(一五)は二日午後八時頃事務所の掃除を終り退勤したが歸宅せず三日は明治節で何處かへ遊びに行つたのだらうと思つた父の永樂町三丁目朴雲龍も四日になつて會社へ出勤しないことから家出したと判り中央通署へ屆出た

全滿洲軍京城着

【京城國通】實業ラグビー界の雄全滿洲軍渡邊監督以下廿一名は四日午後二時五十分着のぞみで京城着浦尾旅館に入つた、五日午後二時半から鐵道野球場で全鮮鐵軍、六日午後二時半から京城O・B軍と對戰する

訂正

五日附本紙夕刊二面「兒童の家」記事見出し千早寮とあるは千早倶樂部の誤りにつき訂正

中央通署の杉野刑事、先日夜の街を密行中竊盜容疑者を發見格鬪の上逮捕したが、この犯人あくまで抵抗して手錠をかけてからもまだ一町程逃げた二十何貫の巨軀の持主である同刑事ふう／＼言ひながら追跡して捕へたが▼その翌日晝下り閑散な刑事室で盛に走廻つてゐるので何をしてゐるかと思つたら、自分の手に手錠をはめて「成程、少し不自由だがやはり走れるわい」と感心してゐる、身體ばかり大きくてもまだ子供みたいな所がある▼曰く「警察が苦心して犯人を捕つても肝心の被害屆が出てゐないから品物の行き場が無い」宙に迷つてゐる品は九月二十八日康德會館裏で富士號自轉車一臺、十月四日西公園競技場で市內小學校體育會の時、鼠色のレインコート一着である、心當りの方は屆けて下さい

天氣と氣溫
けふの天氣 北の風曇一時晴雨曖樣
きのふの氣溫 最高八度三 最低零下二度三

若殿膝栗毛

(百六十四)

中川雨之助

竹中一郎畫

いやな使

「兵庫の謎心を知り。人間の正しき道を踏むことを得たのも、畢竟は、大和橋において二千兩の賄賂を捻んだ者のお陰である」

泥棒が恩人……少し變な話だが考へてみれば、それもさうだ。

「どうぢや、その賊に、禮を述べる心はあるか」

「えゝ、そりやもう……けれどもその泥…イヤ泥棒殿は、何處の誰やら分りませぬ」

「分つて居る。そちの魂を救つた賊は、即ち、そちの命を救つた者だ」

「え……？」

又しても、謎めいた言葉。難波屋は、まるで霧の中を、手探りで彷徨いて居るやうだ。

「では、若や、あなた様では……」と、傳吉が言つた。

斯うなると、傳吉の方が、難波屋よりは、遙かに頭が宜い。

「いかにも、左様ぢや」

「えツ、では、あなた様が、あの泥……泥……お泥棒？」

難波屋、舌が硬ばつて口が利けない。

見ると、其人は、既に背を見せて、闇の彼方に歩み去りつつあつた。

謎の人……それは長七郎であつた。

天滿の武藏屋五兵衛方を立出て、浪華の町のそぞろ歩き。

夜更けの河岸に、圖らず難波屋の危難を救つたのも、不思議の因縁であつた。

どちらは路上にうづくまつて、呆れ驚く二人の上に、河岸の夜霧がしつとりと。

◇

紀州家藏屋敷のお長屋の中の一軒に、梅田萬次郎が住んでゐた。萬次郎は、大和橋で長七郎に斬られ、武藏屋方で手當をうけて送り返されて來た男である。

彼は、狭い長屋の一構で、老たる母と二人で暮して居た。

傷のあとが、まだ餘り宜しくない。

その夜は床の上に起直つて、母の煮て呉れた粥を食べてゐた。口を動かすたんびに、繃帯で釣つた顎のあたりがまだヅキヅキ痛む。

と、入口が開いて。

「梅田、発せよ」といつて這入つて來た男がある。

同じ藏屋敷の下役を勤めて、萬次郎とは仲宜しの同僚佐々木金彌といふ、除に萬次郎より一つ兄であつた。

「おう、佐々木か、さあ、上つて呉れ」

萬次郎は嬉しさうだつた。見舞ひかたがた遊びに來て呉れたのだと思つた。」

「あゝ」といつて、佐々木は無造作に上つて來た。

いつもなら、直ぐ枕元へ來るのに、今夜は入口の障子に衝立つたまゝ、座らうとしないで、ヂツと視下して居る。

薄暗い行燈の光りの中に、黙つてゐる樣子の變、秋の夜に相應しい寂しさであつた。

縁の下では、微に地虫の聲がする。

「どうした、佐々木。まあ座れ」

萬次郎は、けげんさうに、友の顔を見た。

「さあどうぞ、佐々木様」といつて、老母は、土鍋だの茶碗なぞを急いで取片づけた。

「あ、御老母、どうぞそのまゝ…」

梅田、もう傷は痛んだのか」

「あゝ、ちやうど済んだ處だ」

「さうか……」と、佐々木は少し考込んでから。

「おい梅田、おれは今夜、嫌な使ひを持つて來たいぞ」とつて、グツと生唾を呑み下した。